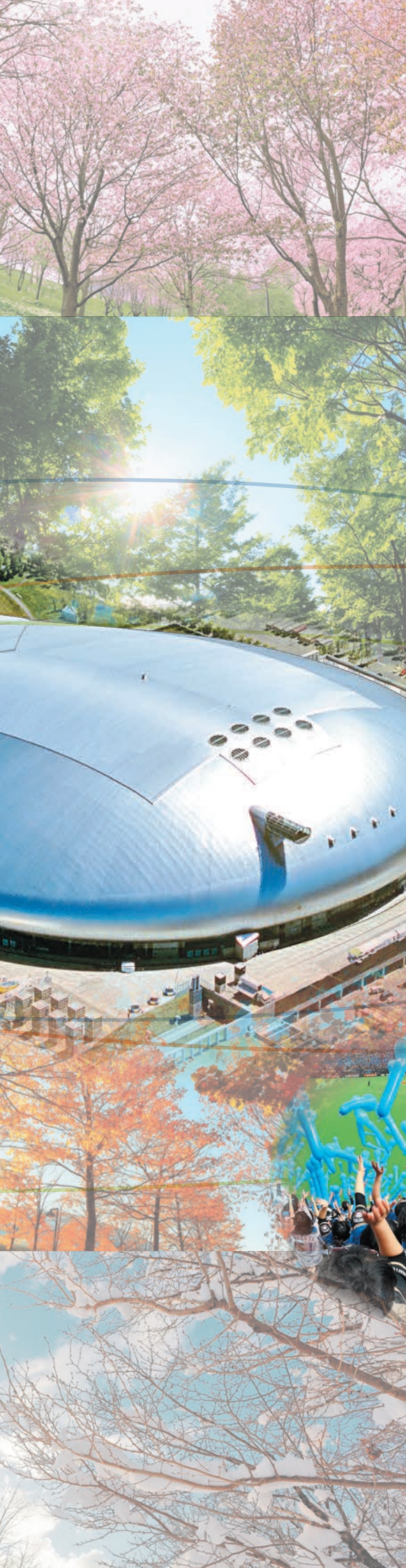


夢と感動を実現するステージの創造



SAPPORO DOME Co.,Ltd.

CSR REPORT 2017



2021年 開業20周年、その先へ

2001年に開業した札幌ドームは、
4年後、2021年に開業20周年を迎えます
開業20周年、
そして、その先へ向けて——
市民道民の皆さまにとって、
より魅力ある札幌ドームの実現を目指し、
すべてのお客さまの夢と感動を実現するステージを創造し続けます



CONTENTS

TOPメッセージ 3
札幌ドームのCSR 5

巻頭TOPIC
開業15周年記念事業 7

すべてのお客さまのために
すべてのお客さまの安全と安心のために 11
最高の舞台であるために 15
より楽しく、より快適にご利用いただくために 19
お客さまの声をかたちに 25

地域社会とともに
地域とともに成長するために 27

公正に事業を推進するために
信頼される企業であるために 31

社員とともに
誇りに思える職場であるために 33

環境にやさしい施設を目指して
環境にやさしい施設であるために 35

資料 45

〔編集方針〕
当社にとってのすべてのお客さま（＝ステークホルダー）に、
CSRに対する当社の考え方や事業活動をご理解いただく
重要なコミュニケーションツールとして「札幌ドームCSR
レポート2017」を発行いたします。
本レポートをお読みいただく皆さまに、できるだけ分かり
やすくお伝えるため、図表や写真のほかイラストなども
随所に用い、レイアウトいたしました。
本レポートの発行を今後のさらなるCSRの推進につなげて
いきたいと考えておりますので、皆さまからの忌憚のない
ご意見や感想をお寄せいただければ幸いに存じます。

〔報告対象期間〕
本レポートでの報告は、2016年度（2016年4月1日～
2017年3月31日）の活動を対象としていますが、当社の
事業活動をご理解いただくため、札幌ドーム開業からの
取り組みについてもご紹介しています。

〔発行〕
2017年7月
（2008年から年次報告として毎年発行しています。）

市民道民の皆さまに末永く愛され、喜んでいただけるよう “より魅力ある札幌ドーム”の実現を目指してまいります

このたび、本年6月に代表取締役社長に就任いたしました山川広行でございます。微力ではございますが、札幌ドームと社業の発展に全力を尽くし、皆さまのご期待に添えますよう鋭意努力する所存でございます。

さて、2001年に開業した札幌ドームは、昨年6月、無事開業15周年を迎えることができました。これもひとえに、開業以来ご来場いただきました累計4,200万人を超えるお客さまをはじめ、主催者さま、近隣にお住まいの皆さま、関係事業者さまなど、多くの皆さまのお力添えの賜物であると心より御礼申し上げます。

振り返りますと、2016年は札幌ドームを本拠地とする「北海道コンサドーレ札幌」と「北海道日本ハムファイターズ」がともに見事な優勝を果たしました。私自身、一市民、ファン、サポーターとして心から喜び、大いに元気づけられました。札幌ドームでの両チームの同時優勝は、9年振り2回目のことになります。

札幌ドームが誕生して16年。私たち市民道民は、これまでに味わうことのできなかった数多くの新たな感動を経験し、新たなライフスタイルや余暇の過ごし方も手にすることができました。子どもたちにとっては、今や当たり前のように札幌ドームが存在しており、まさしく夢や希望を育む、憧れの舞台になっています。

こうした市民道民の皆さまの財産であります札幌ドームをしっかりと管理運営し、北海道で最大かつ唯一の大規模全天候型多目的施設の効用を最大限に発揮していくことが当社に課せられた使命であります。

この使命を果たすことこそが、当社にとってのCSR（企業の社会的責任）の根本であり、「CSRは経営そのものである」という考え方につながっています。

一方、時代の流れとともに、札幌ドームに求められる役割や期待される施設のあり方も多様化し、当社を取り巻く経営環境が変化していることも否定できません。そのため、従来の殻を打ち破り、新たな発想が必要になってくる場面もあらうかと思います。

当社は、札幌ドーム開業20周年を迎える2021年を目標年とする長期ビジョン「SV-21」において、“新たな価値と感動を創造し続ける企業”を目指しており、そのための「中期経営計画2018」では、“ブレイクスルー”というキーワードを掲げています。

このキーワードのもと、開業20周年、そして、その先も見据え、社員一同、お客さまの声に真摯に耳を傾け、市民道民の皆さまに末永く愛され、喜んでいただけるよう“より魅力ある札幌ドーム”の実現を目指してまいりたいと考えております。

来年4月には、札幌市の指定管理者制度における札幌ドーム指定管理者の更新時期を迎えます。新たな指定期間におきましても、引き続き、その責務を全うし、スポーツの普及振興および市民文化の向上ならびに地域経済の活性化に一層寄与できるよう総力を結集して邁進してまいります。今後も変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 山川広行

〔開業20周年に向けて、ありがたい姿〕

長期ビジョン「SAPPORO DOME VISION 2021 (SV-21)」

新たな価値と感動を創造し続ける企業へ

社員一人ひとりが成長し続けることで、お客さまにとっての新たな価値と感動を創造し続け、市民道民の皆さまに喜ばれ、地域社会から信頼される企業を目指す

2021年、開業20周年へ

中期経営計画2018

●基本方針

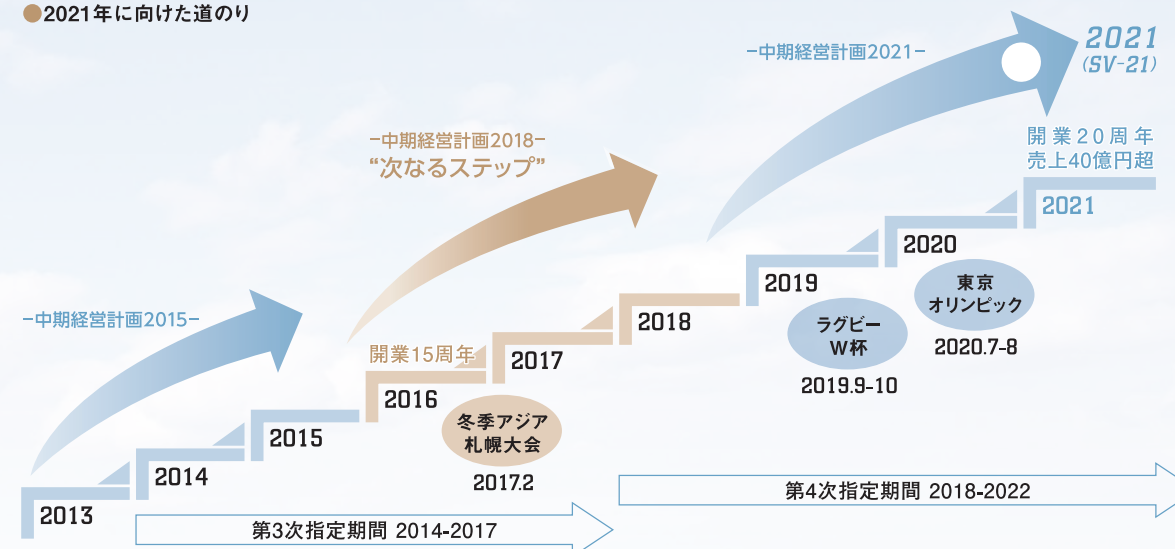
年間総来場者数300万人達成に向けた “札幌ドームブランド”の向上

(=ステークホルダーにとっての札幌ドームの価値と信頼性)

●基本方針を実現するための3つの基本戦略

- 1 “北海道のスポーツ・文化の発信地”としての魅力と可能性の追求
- 2 人にやさしい施設づくりとサービスの深化・拡大
- 3 確固たる経営基盤の確立

●2021年に向けた道のり



【経営理念】

Our Mission, Value, Vision

私たちはエンターテインメントビジネスを通して、 常に最高のホスピタリティを追求し、 すべてのお客さまの夢と感動を実現する ステージを創造します

エンターテインメントビジネス：すべてのお客さまをもてなし、楽しんでもいただくことを通して、ともに喜びを分かち合えるビジネス。
ホスピタリティ：思いやり・優しさの気持ちをもって、人と人が心を通じ合わせ、楽しさ・喜び・感動を共有すること。
ステージ：空間としての舞台や劇場のほか、旅程・段階・ステップの意味も込めています。

【行動指針】

Guiding Principles

—すべてはお客さまのために—

1. お客さまと意思を一つにし、喜びと感動を共有することで、ホスピタリティあふれるサービスを提供します
2. お客さまの安全を最優先に考え、常に安心して楽しんでもいただける環境をつくります
3. お客さまの声に真摯に耳を傾け、サービス向上に努めるとともに、公平性を確保し、誠実で良識ある行動を心がけます
4. 事業活動に伴う環境負荷を正しく把握し、札幌ドーム「環境方針」の実現に向けて更なる取り組みを進めます
5. 札幌ドームならではの社会貢献活動に取り組み、地域の発展と豊かさの実現に寄与します
6. 社会の一員として、高い倫理観をもって法令・規則等を遵守し、反社会的勢力には毅然として対応します
7. 公共性を意識した健全な事業活動を推進し、公正かつ適正な取引を行います
8. 企業情報を公正に開示して説明責任を果たすとともに、個人情報等の各種情報を適正に管理します
9. 多様な人材と個性を尊重するとともに、規律と協調を重んじ、安全で働きやすい健康的な職場をつくります
10. 高い理想を掲げ、責任と誇りと思いやりの心をもって行動し、更なる成長をめざします

私たち一人ひとりが札幌ドームです

札幌ドームのCSR

当社は、札幌ドームを管理運営するために札幌市が55%出資して設立されました。そのため、札幌ドーム条例第1条に定める施設の設置目的は、当社が果たすべき第1の使命となります。したがって、当社の事業活動の成果は広く市民の皆さまや地域社会に還元されていくべきものであり、私たちにとってのCSRとは経営そのものであると考えています。

私たちにとってCSR経営を推進することは、社会からの信頼を獲得して企業価値を向上させるだけではなく、社会の持続可能な発展と未来のスポーツ文化、市場・顧客の創造にも貢献し、さらには、自らの業務や会社への誇りを醸成し、社員一人ひとりのモチベーション向上と組織活性化にも寄与していくものだと考えています。

札幌ドーム条例 第1条

本市は、内外の優れたスポーツ、展示会その他の催物の開催の場を提供すること等により、スポーツの普及振興及び市民文化の向上並びに地域経済の活性化に寄与するため、札幌市豊平区羊ヶ丘に札幌ドームを設置する。

私たちにとってのすべてのお客さま

札幌ドームを舞台に活躍する皆さま、
観戦鑑賞のためにご来場される皆さま、観光で訪れる皆さま、
札幌ドームを支え、ともに働く皆さま、札幌ドームのある街に暮らす皆さま、
そのすべての皆さまが、私たちにとって大切なお客さまです。

8つのCSRへの取り組み課題

CSR経営を推進するため、行動指針に基づき、8つのCSRへの取り組み課題を設定しています。

すべてのお客さまのために	すべてのお客さまの安全と安心のために …施設設備の維持保全、改良工事等の実施、防災、警備・救命体制、食の安全	P.11-14
	最高の舞台であるために …多目的ドームとしての多様なイベント対応、フランチャイズチームへの支援と連携	P.15-18
	より楽しく、より快適にご利用いただくために …スタジアムグルメ・ショッピング、観光、自主イベント、市民利用の充実	P.19-24
	お客さまの声をかたちに …お客さまの声をふまえた施設設備・サービスの改善	P.25-26
地域社会とともに	地域とともに成長するために …地域社会への貢献、みらいを担う子どもたちへの支援	P.27-30
公正に事業を推進するために	信頼される企業であるために …コンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの推進	P.31-32
社員とともに	誇りに思える職場であるために …職場環境・人材育成の充実、ワークライフバランスの推進	P.33-34
環境にやさしい施設を目指して	環境にやさしい施設であるために …省エネルギー、資源循環の促進、生物多様性の保全、啓発活動の推進	P.35-44

感謝の気持ちを込めて、 開業15周年記念事業を実施いたしました

2001年6月2日に開業した札幌ドームは、2016年に15周年を迎えることができました。これに合わせ、開業15周年記念「キャッチコピー&ロゴマーク」を制作して15年の節目をPRしたほか、新たにマスコットキャラクターを創出。さらに、今まで支えていただいた皆さまに感謝の気持ちを込めて記念イベントや企画の開催、限定グッズ・弁当の販売など、さまざまな記念事業を展開しました。



「キャッチコピー&ロゴマーク」を制作し、 開業15周年の告知・広報に活用

開業15周年記念のキャッチコピーは、「感動の扉を開けて15年 もっとワクワク、ずっとドキドキ」。札幌ドームがこれからも、ワクワク・ドキドキするような感動をご来場の皆さまに提供できる施設となるようにとの社員の思いから決定しました。ロゴマークは、オープンアリーナから見たダイナミックで広大な札幌ドームの風景で、数字の15を形成しました。



マスコットキャラクター 「チャームコロ」誕生

開業15周年を機に、市民道民の皆さまに札幌ドームをより一層親しみやすく身近な存在に感じてもらうとともに、札幌ドームで開催されるイベントや企画などの情報発信をするメッセンジャーとして、札幌ドームのマスコットキャラクターを創出しました。デザインを募集し、若手社員を中心とした委員会で話し合いを重ねた後、社員投票により札幌ドームの妖精「チャームコロ」に決定しました。オリジナルグッズなどの開発をはじめウェブサイトや広報物など、札幌ドームとお客さまをつなぐ新たな接点、コミュニケーションツールとして今後、さらに活用を進めてまいります。



ロゴマークなどを活用し 開業15周年をPR

開業15周年を広くPRするため、記念キャッチコピーやロゴマークを活用。館内各所への装飾をはじめ社員の名刺や広報物、広告などの各種ツールに使用しました。



記念グッズを発売し 先着プレゼントも実施

開業15周年記念グッズとして、ロゴマークを取り入れたオリジナルトートバッグと今治バスタオルを発売。ご購入いただいた方に先着でミニトートバッグのプレゼントも実施しました。



開業15周年記念イベントとして 「サッポロ モノ ヴィレージ」を初めて開催

北海道最大のハンドメイドフェスティバル
サッポロ モノ ヴィレージ
2016.6.25 SAT / 26 SUN 札幌ドーム

開業15周年を記念して、2016年6月25日～26日にハンドメイド作品の展示・販売イベント「サッポロ モノ ヴィレージ」を初めて開催しました。多くのお客さまに楽しんでいただくことができ、札幌ドームの自主イベントの一つとして継続開催していくことになりました。



Interview

札幌の一つの文化になるようなイベントに成長し、 根づいていくことを願っています

企画の背景や経緯、苦労した点は？

齊藤 札幌市内を含め、全国でハンドメイドイベントが盛り上がっていることはキャッチしており、札幌ドームをぜひ会場にしたいと考えていたものを15周年記念事業として開催することになりました。初回ということで、一番心配だったのは出店者が集まるかどうか。最初は申込の動きがあまり良くなく、出店者側にお客さまが本当に来るのかということと、札幌ドームのスケール感に戸惑う気持ちがあったようです。そこで、各地のハンドメイドイベントに足を運んでチラシを配り、SNSを使って積極的に広報していきました。こちらから一声かけると顔が見えることで不安が解消され、出店者の背中を押せたのではないかと思います。



高橋 東京、大阪、名古屋などでは何千ブースという出店者が集まるハンドメイドイベントが行われており、道内でも、もっと大きな会場でやってみたいという希望が出店者側にありましたし、来場者側にも、もっと大きな規模で見てみたいという声が上がってきた

タイミングだったことも背景にありました。初開催でし、単に北海道で一番大きいハンドメイドのイベントというだけではお客さまが集まらないのではないかと考えたので、ハンドメイドのしかも「おしゃれ」なイベントだということを、広報物やフェイスブックでどう伝えていくか試行錯誤しました。

初のイベントを開催しての感想は？

齊藤 来場者数は2日間で37,905人と、本当に多くの方に来ていただきました。市内・道内にハンドメイドがお好きな方がこれだけたくさんいらっしゃることに我々も驚きましたし、そういう場所を提供できたことが非常にうれしかったです。



左から 商業部 飲食事業課 (当時 営業部 企画運営課) 課長代理 高橋 淳也 営業部 企画運営課 課長代理 齊藤 学

高橋 予想以上にお客さまがいらしたためゆっくりと会場を回ることができず、出店してくださった皆さま一人ひとりにあいさつできなかったのが心残りでした。後日、出店された方たちにいろいろなところでお会いした際、売り上げとしてもお客さまの表情なども「モノ ヴィレージ」が一番良かったという声をお聞きし、イベントの成功を実感できました。

齊藤 丹誠込めて作った作品をお客さまに披露できなければ、モチベーションという部分で次につながらないので、作家としていろいろな方に見てもらい機会ができたことを出店者の皆さまが非常に喜んでくれました。また、来場者にとっては延べ1,100ブースが集まる屋内の会場は道内でここだけでしょうから、その規模の大きさが一番の魅力となってご来場いただけたと思います。開催にあたり、これまで札幌ドームに携わってくださった関係各社の皆さまにさまざまな協力をいただき、15年の経験をいかしたイベント運営でもありました。



今後はどんなイベントにしていきたいですか？

高橋 当日の撤収時や後日、出店者の皆さまから「来年はいつやるの」「毎年やってね」という声を数多くいただきました。15周年記念事業の一環として開催したイベントですが、継続して開催していくことで出店者の皆さまとともにイベント運営もレベルアップしていければと思います。

齊藤 札幌ドームといえば「モノ ヴィレージ」というイベントになってほしいです。いつか雪まつりやオータムフェストのように札幌の一つの文化になってくれればうれしいです。まずは今年は、昨年の反省をもとに会場の案内サインを充実させるなど来場者の皆さまの満足度を向上させたいと思っています。



15年間に札幌ドームで撮影された写真を広く募集する特別企画 「メモリアル フォトコンテスト～感動の扉を開けて15年～」

2つのテーマを設けて写真を募集し、プロフォトグラファー・岸本日出雄氏に審査を監修していただき、ご応募いただいた115点の中から16点の入賞作品を決定。入賞作品はウェブサイトで公開したほか、展望台に展示しました。

VOICE

札幌ドームをいろいろな視点で見てください、感謝しています

15周年という観点からさまざまな企画を課内で出し合い、今まで行ってこなかった写真関係のイベントということと、15年を振り返るという意味から、フォトコンテスト開催にたどり着きました。募集する写真は開業した2001年6月以降に撮影された作品とし、「感動!笑顔!涙!」、「景観と自然環境」の2つのテーマを用意。応募作品を見ると、四季折々、朝早くから夜の風景まであり、日頃からよく札幌ドームに来て撮影されている方が多いと感じられ、本当にありがたいと思いました。私たちが見たことのないアングルなど、いろいろな角度、視点で札幌ドームを見ていただき、非常にうれしく思いました。応募規定で写真の画素数を指定しましたが、15年前はデジタルカメラもさほど普及していませんでしたので、応募いただいた方から古い写真ではその画素数は難しいという率直なコメントもいただきました。ネガからデジタル化して応募いただくにあたっては、あまり画素数を高くすると難しいことに気づかせていただきました。また、イベントによっては肖像権の問題がありましたので、各イベント主催者さまにご迷惑がかかることがないように事前に調整させていただき、良い経験となりました。お子さまを撮られている写真の中には、「開業したばかりの頃のもので、今は既に大人です」というコメントが付いたご応募もありました。企画を通して、お客さまに15年間の思い出を振り返っていただいたり、コミュニケーションツールとしてご家庭で話題になってくれればという思いもありましたので、良かったなと思いました。チャンスがあれば、違う視点のテーマを設けて開催するなど、今回を第一歩に、新たな展開を考えていければと思っています。

商業部 事業推進課 課長代理 佐々木 恒一



テーマ① 感動!笑顔!涙!



■最優秀賞
ラッキーセブン
澤田 茂夫さん
(札幌市手稲区)

[作品に対するコメント]
満員の応援で優勝だ!



■優秀賞
サポーターに感動!
羽沢 千栄子さん(小樽市)



■優秀賞
笑顔を頂きました!!
澤田 硬平さん(札幌市手稲区)

テーマ② 景観と自然環境

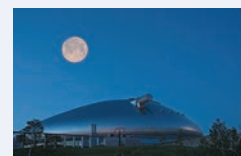


■最優秀賞
虹の光に包まれて
倉橋 智雄さん
(札幌市豊平区)

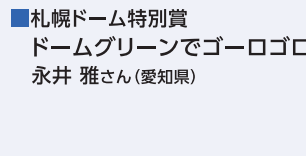
[作品に対するコメント]
虹が消える前に、ドームと重なる場所を探して走りました。



■優秀賞
足元のドーム
飯高 光紀さん(札幌市豊平区)



■優秀賞
スーパードーム!
内田 利一さん(札幌市清田区)



■札幌ドーム特別賞
ドームグリーンでゴーロゴロ!
永井 雅さん(愛知県)



北海道コンサドーレ札幌戦・北海道日本ハムファイターズ戦で 「札幌ドーム スペシャルデー2016」を開催

15年間のご愛顧に感謝の気持ちを込め、札幌ドーム開業15周年特別企画として、札幌ドームで開催された北海道コンサドーレ札幌戦・北海道日本ハムファイターズ戦各1試合で「札幌ドーム スペシャルデー2016」を開催。来場プレゼントや抽選会などのさまざまな企画を実施し、お客さまとともにフランチャイズチームの活躍をさらに盛り上げました。



夏の思い出づくりとして子どもたちも楽しめる 展望台特別展示「びっくり!体感!ドームわくわく展」を開催

2016年7月22日～8月21日に子どもたちを中心に札幌ドームで夏の思い出づくりをしてみようという展望台特別展示を実施。野球やサッカー、札幌ドームなどをテーマにした展示・クイズによる「びっくり!体感!ドームわくわく展」のほか、ドームのまわりを散歩しながらチェックポイントを探す「ぐるりさんぽ」を開催しました。

Interview

展望台などを活用して札幌ドームが より身近に感じられる企画づくりを

企画実施にあたってのねらいや準備は?

竹高 「わくわく展」は、札幌ドームの歴史を紹介するコーナーなど15周年をイメージした展示に加え、身近なスポーツについてより知ってもらえるような企画のフレームをつくり、その後の担当は入社したばかりの大森に任せました。



大森 準備中は自分も楽しみながら、こういうものがあれば面白いのではないかと展示物やクイズを考えました。来場した子どもたちが「すごいね」「こんなこと知らなかった」と、自分が求めていたリアクションを見せてくれてとてもうれしかったです。アリーナ

照明の大きさを知ってもらうため設備の担当者に実物を用意してもらうなど、いろいろな方に協力いただきました。そうした経験をベースに、次回はもっとわくわくできて、来て良かったと思ってもらえ、さらに夏休みの自由研究など学びにも役立つ企画となるように、準備したいと思っています。

竹高 これまで展望台ではイベントに紐付いた展示を主に行ってきたので、非イベント日などのお客さまを増やすという目的のためにも、展望台には何かがあるということをアピールし、今後も継続的に企画を展開していく考えです。

左から 商業部 事業推進課 大森 大希 商業部 事業推進課 課長 竹高 康博



今後の展開として考えていることは?

竹高 「わくわく展」と同時に、前年からの企画の継続として「ぐるりさんぽ」も実施しました。こうした企画の根底にあるのは、札幌ドームはお客さまの身近な存在でありたいという思いです。

大森 私は、札幌ドームに来て「すごい」「楽しいな」と思ってもらいたかったので、子どもたちが面白いと思えるものを考え、思い出に残るような企画を打ち出したいと思っています。

竹高 札幌ドームは、市内の5つの観光施設と入場料相互割引を行っており、「わくわく展」の野球の展示部分が、連携先の北海道博物館さまが行う特別展に取り入れられることになりました。今後はほかの施設とも、こうしたコラボを広げていければと思っています。



開業以来のご来場者数 4,000万人を達成

札幌ドーム開業以来、ご来場いただいたお客さまの人数が、2016年7月24日で4,000万人を達成。4,000万人目となったご家族には、展望台で北海道コンサドーレ札幌・北海道日本ハムファイターズ戦の招待券などをプレゼントしました。



岡田武史氏、四方田修平現監督による 「札幌ドーム展望台トークショー」を開催

北海道コンサドーレ札幌創立20周年・札幌ドーム開業15周年記念特別企画として、「札幌ドーム展望台トークショー」を2016年9月26日に開催しました。北海道コンサドーレ札幌の札幌ドーム開業時の監督だった岡田武史氏(FC今治オーナー)と現監督の四方田修平氏が、北海道コンサドーレ札幌戦終了後に展望台でトークを展開。約150名のお客さまに、チームについての話題などを楽しんでいただきました。



すべてのお客さまの安全と安心のために

すべてのお客さまにとって、安全が当たり前であること、常に安心して札幌ドームを楽しんでいただくことを何よりも大切にしています。



- P.12 市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために
- P.13 地震や火災などの発生に備え、防災体制の強化を図っています
- P.14 大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化しています
- P.14 4万人のお客さまの「食」の安全を守ります



市民道民の財産「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継ぐために

市民道民の財産である「札幌ドーム」を守り、未来へ引き継いでいくために、施設設備の維持保全に努めているほか、来場者サービス向上や安全対策を目的とした改良工事等を行っています。



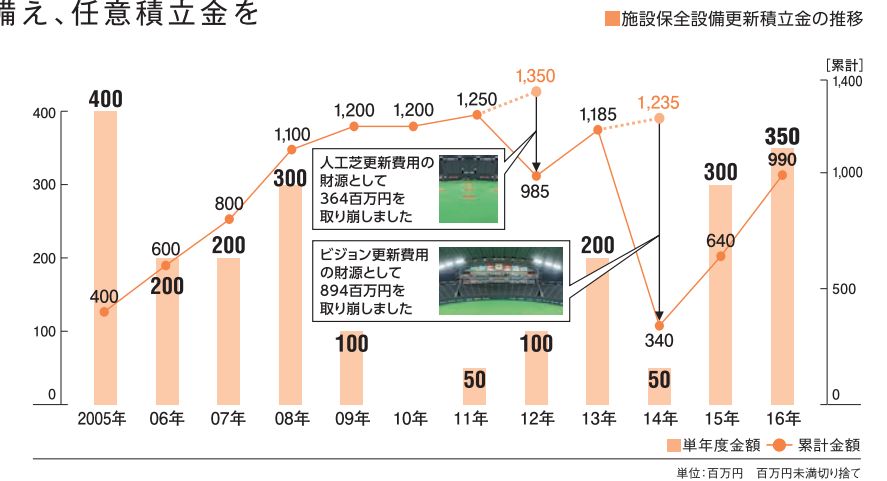
施設設備の維持保全

施設所有者である札幌市と連携しながら、施設設備の維持保全や改良工事などを適切に進めています。お客さまの安全を最優先として、日頃より施設設備の点検や必要な修繕、設備更新などを行うほか、清潔で気持ちの良い空間を提供するため、毎日の清掃やイベント後の清掃に加えて展望台のガラスなどの特別清掃も実施しています。



中長期的な維持保全に備え、任意積立金を積み立てています

中長期的に必要な大規模な設備更新・維持保全に備え、利益の多くを「施設保全設備更新積立金」(任意積立金)として積み立てています。この積立金の一部を取り崩し、2012年度に人工芝更新、2014年度には大型ビジョンの更新・増設を行いました。



施設設備の改良工事等を実施

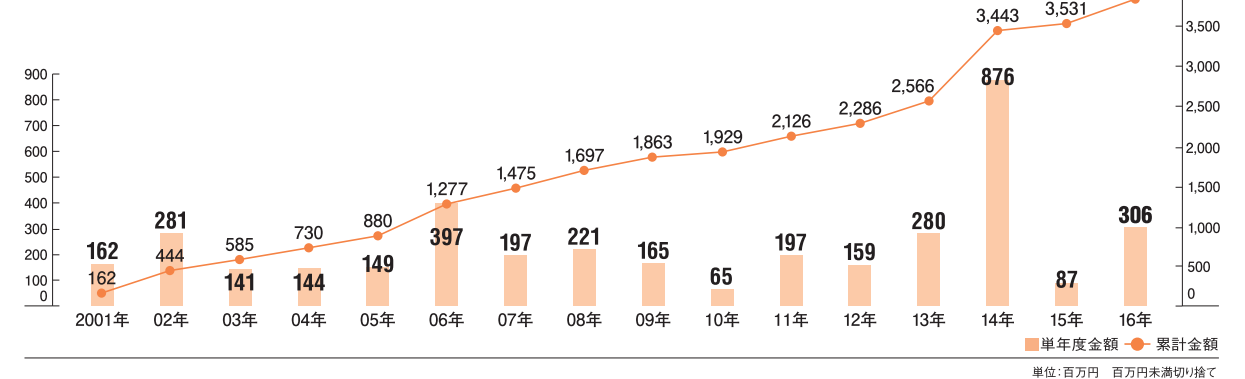
お客さまからのさまざまなご意見やご要望に基づき、より快適に札幌ドームをご利用いただくため、施設所有者である札幌市と協議のうえ、施設設備の改良工事等を実施しています。

お客さまからのご要望による改善事例はP.26をご覧ください。

2016年度の主な改良工事



改良工事等の金額



地震や火災などの発生に備え、防災体制の強化を図っています

大規模地震対策として地震監視警報システムを導入するなど、防災体制の強化を進めるとともに、関係機関の皆さまと連携して訓練に繰り返し取り組み、万が一の事態に備えています。

総合防災訓練などを繰り返し実施

消防法に基づく消防計画を作成し、火災を想定した防火訓練、大規模地震を想定した総合防災訓練などを毎年実施。2016年度は北海道日本ハムファイターズさま、委託事業者さまなどと協議し、訓練シナリオを伏せたうえで、実際の状況に近いかたちでの訓練に取り組んだほか、館内の消火栓を使った放水訓練なども行いました。また、2016年10月の訓練から、非常放送を外国人やお子さまにも分かりやすいよう「やさしい日本語」を使った表現に変更しています。



総合防災訓練の概要

訓練想定：プロ野球試合日(来場者35,000人)にマグニチュード7.3震度5強の大規模地震が発生したと想定

地震警報の認知

- 試合中断
- 館内アナウンスおよび大型ビジョンによる広報開始
- 災害対策本部・自衛消防隊本部の設置



地震発生

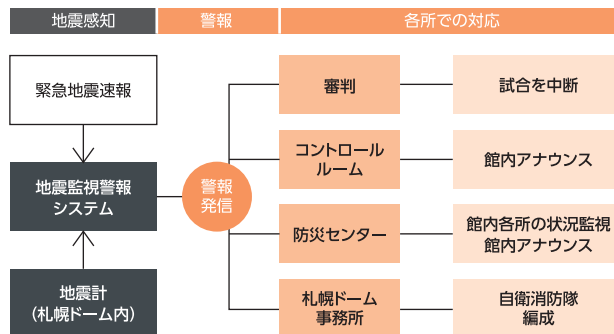
- 館内アナウンスおよび大型ビジョンによる周知
- 身の安全の確保

地震鎮静後

- 災害対策本部・自衛消防隊本部の編成
- 施設の安全確認
- けが人・迷子発生への対応
- 火災への対応
- 来場者の避難誘導



地震監視警報システムによる大規模地震への対応体制(イメージ図)



災害時の対応要領などを記載した防災カードを社員が携帯

災害時の札幌ドームでの対応要領や消火栓の使い方などを記載した防災カードを社員に配布。それぞれが携帯し、日頃の防災意識向上にもつなげています。



防災講習会を実施し、防災意識の向上を図っています

防災意識を高めるための社内講習会を実施。毎年、数多くある防災設備の中からテーマを決めており、2016年度は消火設備に関する説明や放水銃のテスト操作を行いました。



札幌ドームの防災システム

防災センターを中心にした総合消防防災システムなどを完備。全館に火災通報設備、非常照明設備、初期消火設備としてアリーナ・スタンド・コンコースなどに消火器や屋内消火栓、放水銃を設置し、消防用水を4か所に確保。非常用発電機も設置しています。



●放水銃



●防災センター

優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。防災センターに設置された総合操作盤を中心とする総合消防防災システムへの評価などで、竣工時に優良消防防災システム「消防庁長官賞」を受賞しています。

大規模イベント開催時の警備・救命体制を強化しています

札幌ドームのすべてのお客さまにとっての安全を最優先に考え、関係機関の皆さまとも協力して警備体制を強化。救命処置などにあたる体制も整え、お客さまに安心して楽しんでいただける環境整備に力を入れています。

警備体制の強化に取り組んでいます

センサーや遠隔監視システムなどを用いた機械警備と、警備員による巡回警備のほか、イベント開催時には警察・消防・主催者さまと連携してお客さまの安全を確保しています。



冬季アジア札幌大会に備えテロ対策訓練を実施

2017年2月に行われた冬季アジア札幌大会の開会式開催に先立ち、札幌ドーム館内での化学物質によるテロ発生を想定した訓練を北海道警察と札幌市消防局により行いました。観客の誘導方法、負傷者の救護、化学物質の判定、除去作業、テロリストの制圧などの特殊な訓練を行い、万が一への対策と手順を確認しました。



救命体制を強化しています

AED(自動体外式除細動器)を屋内外に計11か所設置し、使用方法などについて学ぶ普通救命講習を社員が受講。また、館内27か所に担架を設置しており、緊急時に備える体制を整備しています。

札幌ドームのAED設置箇所(11か所)



●医務室
大規模イベント開催時は館内に医務室を用意し、医師や看護師の手配を主催者さまに依頼。そのほかのイベントでも応急処置が可能な体制にしています。



4万人のお客さまの「食」の安全を守ります

保健センターや民間の衛生機関とも連携し、札幌ドーム内で販売する飲食物の衛生管理を行っています。飲食事業者さまとともに、おいしさと衛生面の両立を図っています。

衛生管理のための対策を推進

飲食売店などの新人スタッフ、社員・リーダーなど対象ごとに食品衛生講習会を実施しています。また、札幌市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を締結している「札幌ドーム飲食事業者協議会」では、重点的に取り組む4つのマイルールを策定して徹底を図り、「食」のさらなる安全を目指しています。



札幌ドーム飲食事業者協議会マイルール

- 会員各社は、5S(整理、整頓、清潔、清掃、躰)を徹底し、売店厨房等の良好な環境の保持に努めます。
- 会員各社は、食材の適切な温度管理や、異物混入を防ぐための点検を徹底します。
- 会員各社は、従業員の健康管理や身だしなみの確認を行い、従業員一人一人の衛生意識の向上と徹底に努めます。
- 会員各社は、札幌ドームに来場するお客様に安心していただける「安全」な商品の提供とサービスの向上に努めます。

「さっぽろ食の安全・安心推進協定」は、札幌市が、「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して2009年6月に創設した制度で、札幌市内の生産者・食品事業者・食品関連団体が対象となります。本協定を締結した事業者・団体等は、食の安全・安心に関して積極的かつ自主的に取り組んでいることから、重点的に取り組んでいく事項を「マイルール」として定め、消費者に公開するとともに、年度毎の取り組み結果を市長に報告します。

最高の舞台であるために

札幌ドームは、スポーツをはじめコンサートや展示会などのさまざまなイベントを円滑に開催し、すべてのお客さまの夢と感動を実現するため、最高の舞台を常にご用意しています。



P.16 さまざまなイベントに対応し、最高の舞台を提供します

P.17 札幌ドームで活躍する2つのプロチームとともに



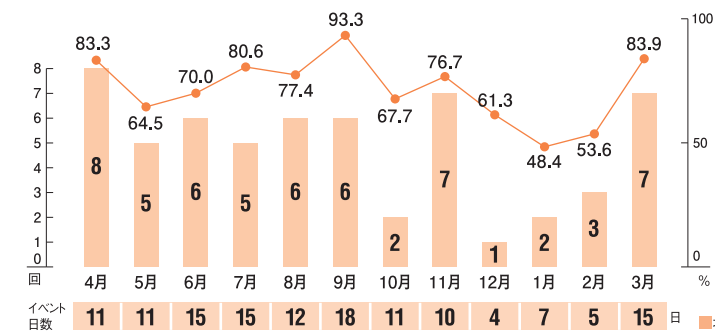
さまざまなイベントに対応し、最高の舞台を提供します

トップアスリートやアーティストをはじめ、ご来場いただくすべての皆さまにご満足いただけるように、札幌ドームは最高の舞台を提供するためのさまざまな努力を続けています。

多様なイベントスケジュールに対応し、場面転換作業を実施

札幌ドームの多目的利用を可能にしているのは、野球、サッカー、コンサートなど目的に応じたモードへのアリーナの転換作業です。スケジュールを調整して各主催者さまのご要望に応え、2016年度は計58回の場面転換作業を行いました。トップアスリートのパフォーマンスを支えるプレー環境提供のため、芝生やグラウンドの管理・整備も徹底しています。

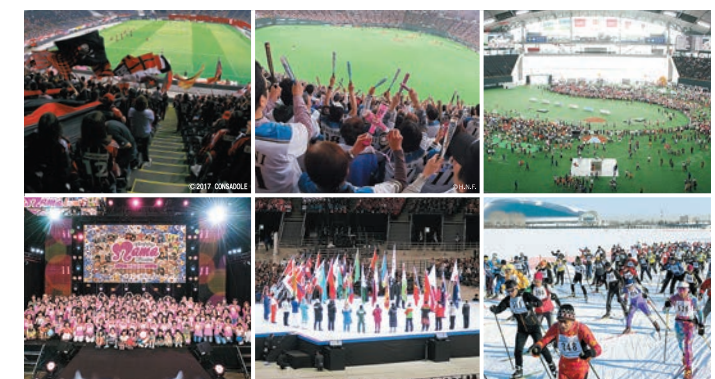
■2016年度の場面転換実施回数および稼働率



■場面転換の実施例		2016年7月
	当日の実施イベント	場面転換
18(月・祝)	北海道日本ハムファイターズ戦	
19(火)	場面転換	野球→サッカー
20(水)	北海道コンサドーレ札幌戦	
21(木)	場面転換	サッカー→野球
22(金)~23(土)	北海道日本ハムファイターズ戦	
24(日)	北海道日本ハムファイターズ戦・場面転換	野球→サッカー
25(月)	北海道コンサドーレ札幌戦	
26(火)	場面転換	サッカー→野球
27(水)~28(木)	アマチュアスポーツ	

さまざまなイベントの舞台として対応

サッカーや野球などのスポーツのほかにも、コンサートをはじめ冬季アジア札幌大会開会式、合同企業説明会など、アリーナを舞台とするさまざまなイベントを誘致・開催しています。



■2016年度 イベント種別一覧

- スポーツイベント**
 - 野球
 - 北海道日本ハムファイターズ戦
 - サッカー
 - 北海道コンサドーレ札幌戦
- コンサート**
 - EXILE ATSUSHI
 - 嵐
 - 関ジャニ∞
- コンベンション・その他**
 - 冬季アジア札幌大会(開会式)
 - HAPPY MAMA FESTA SAPPORO
 - サッポロ モノ ヴィレッジ
 - 北ガスグループ6時間リレーマラソン
 - 豊平区×札幌ドーム スポーツバイキング
 - ドック10th presentsふわふわアドベンチャー ほか

多目的利用を可能にする世界初のシステム

天然芝のホヴァリングサッカーステージが移動。野球とサッカーの場面転換を行う世界初のシステムが、札幌ドームの多目的利用を可能にしています。

- 1 野球フィールドの人工芝を巻き取り、開口部を開放、開閉式可動席を収納します。
- 2 ホヴァリングサッカーステージの移動と連動して旋回式可動席も移動させます。
- 3 ステージがクローズドアリーナに到着後、旋回式可動席とともに90度回転し、野球の内野席とサッカーのメインスタンドを一致させます。
- 4 開口部を閉じ、開閉式可動席を復元してサッカーモードへの転換が完了です。

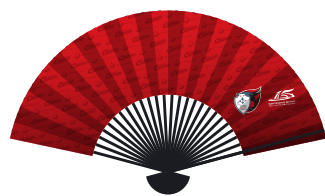
札幌ドームで活躍する 2つのプロチームとともに

「北海道コンサドーレ札幌」と「北海道日本ハムファイターズ」。市民道民に愛される2つのプロチームを支えるとともに、サポーターやファンの皆さまにより楽しんでいただけるように、さまざまなかたちで協力しています。



スポンサーデーを開催しました

フランチャイズチームのさらなる活躍を願って、さまざまな企画を盛り込んだスポンサーデーを毎年開催しています。北海道コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズそれぞれの試合で、来場プレゼントや札幌ドームメンバーズクラブ会員さまを対象にしたイベントなどを行いました。



■オリジナル扇子をプレゼント

北海道コンサドーレ札幌戦のスポンサーデー来場者先着2万名さまにオリジナル扇子をプレゼント。



■展望台特別営業で飲食クーポン

北海道コンサドーレ札幌戦では、展望台特別営業を利用のお客さまに札幌ドーム飲食クーポンを抽選でプレゼント。



■メンバーズクラブ入会キャンペーン

札幌ドームメンバーズクラブ新規入会キャンペーンを実施し、抽選会などを行いました。



■ノート・クリアファイルをプレゼント

北海道日本ハムファイターズ戦のスポンサーデー来場者先着1万5,000名さまにノート・クリアファイルをプレゼント。



■「106円チケット」販売

札幌ドームメンバーズクラブ会員さま対象の企画として、北海道コンサドーレ札幌戦チケットの特別価格販売を実施。



■カード利用でポイント5倍

札幌ドーム内店舗で札幌ドームメンバーズクラブカードのクレジット決済利用により通常2倍のポイントを5倍に。



■エスコートキッズや始球式などの参加型イベント開催

札幌ドームメンバーズクラブ会員さまをはじめお客さまに参加いただくイベントを開催。北海道コンサドーレ札幌の試合前に登場するエスコートキッズ、北海道日本ハムファイターズの始球式などの参加者を募集しました。



芝生の育成管理を徹底しています



北海道コンサドーレ札幌の選手が最高の状態でプレーできる環境を維持するため、芝生の育成状況などを日々確認しながら整備。試合前日に屋内で練習できるよう日程調整などでも協力しています。



■試合開始直前までメンテナンス
試合前の練習で芝生に空いたスパイクによる穴などは、試合開始直前のわずかな時間に補修。また、試合当日の早朝まで送風機を使って、芝にとって極力屋外と同じ環境を整えています。

北海道日本ハムファイターズさまからの要望にお応えして改修工事を実施

北海道日本ハムファイターズさまからの要望をふまえた改修工事を実施。2016年度は、下記の工事をはじめとするさまざまな環境整備を行い、可能な限り要望にお応えしました。

■ダッグアウト内に空調設備を新設
アリーナ面には直接送風できない空調システムのため、ダッグアウト内の暑さ対策として空調設備を新設しました。



■チケット売場の窓口を増設

サービス向上のため窓口を増やしたいという要望にお応えし、売場を拡充したほか、デジタルサイネージも設置しました。



札幌ドームで最も活躍した選手に 「札幌ドームMVP賞」を贈っています

2004年度から、その年に札幌ドームで最も活躍した選手に「札幌ドームMVP賞」を贈呈。2016年度のサッカー部門は北海道コンサドーレ札幌の福森晃斗選手、野球部門は北海道日本ハムファイターズの大谷翔平選手が受賞しました。



より多くのお客さまに楽しんでいただくための協力を行っています

イベントや飲食メニューの企画、チケット販売などに協力し、より多くのお客さまにご観戦いただけるよう両チームと連携を図っています。



■コンサドーレ太鼓判メニュー・必勝弁当の売上を一部還元
クラブカラーの赤と黒を配したメニューなど、北海道コンサドーレ札幌戦限定メニューを販売。若手選手育成を目的とする「松山光プロジェクト」に売上の一部を還元する企画なども実施しました。



■ファイターズ絶品グルメ
選手にちなんだメニューなど、北海道日本ハムファイターズ戦限定メニューを販売。



■ファイターズ優勝パレードに協賛

北海道日本ハムファイターズのバ・リーグ優勝・日本シリーズ制覇を祝って、札幌市内中心部で行われた優勝パレードに協賛。多くのファンの皆さまとともに優勝を喜び合いました。



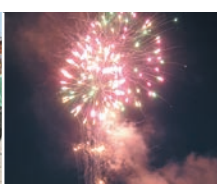
■展望台特別営業

試合の観戦チケット提示で入場料金を割引する特別営業を実施しました。



■屋外イベントや各種企画への協力

屋外テラスやオープンアリーナを開放してお楽しみいただくイベントのほか、札幌ドーム敷地内で開催する「ファイターズ花火大会」などに協力しています。



■ビール半額デー

多くのお客さまにご好評をいただいているビール半額デーを4日間実施しました。



■他会場チケット販売支援

他会場の一部の試合チケットも札幌ドームメンバーズクラブ会報などで告知し、販売。

最寄り駅・地下鉄「福住駅」構内に 選手などをモチーフにした装飾を行っています

札幌市交通局、北海道コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズと連携し、地下鉄「福住駅」構内にチームスローガンや選手写真を設置しています。



2つのフランチャイズチーム



札幌ドームは北海道コンサドーレ札幌のクラブパートナーとして、北海道日本ハムファイターズの出資企業として協力を行っています

●北海道コンサドーレ札幌
1996年、札幌に誕生。開業時から札幌ドームをホームスタジアムとし、熱いサポーターとともに気迫あふれるプレーを展開。

●北海道日本ハムファイターズ
2004年に本拠地を北海道に移転。5度のリーグ優勝に輝き、地域密着の理念に基づいたファンサービスで道民球団として定着。



より楽しく、より快適にご利用いただくために

ご来場いただくすべてのお客さまに、札幌ドームをより楽しく、より快適にご利用いただくために、飲食・物販事業をはじめ自主・共催イベントの開催や市民利用などの充実を図っています。



- P.20 スタジアムグルメを思う存分お楽しみいただけるように
- P.21 ショッピングをお楽しみいただくために
- P.21 観光をお楽しみいただくために
- P.22 より便利に楽しくご利用いただくために
- P.23 新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して
- P.24 市民の皆さまに、より多くご利用いただくために

スタジアムグルメを思う存分 お楽しみいただけるように

札幌ドームでイベントとともにスタジアムグルメを
思う存分お楽しみいただけるように、
メニューの充実はもちろんサービス面の強化にも力を入れています。



VOICE

より喜んでいただけるお弁当を目指して

お客さま参加型のキャンペーンを展開

2016年度のお弁当販促企画「想いよ爆ぜろ!ファイターズ
応援弁当キャンペーン」は、チームと連携した販促活動
ができないかということからファイターズさまと相談し
ながら企画。お弁当に入れた専用カードに選手へのメッ
セージをお客さまに書き込んでいただき、それを選手
ラウンジに掲示して直接選手に読んでもらうようにした
ほか、抽選でプレゼントも当たる内容にしました。約300件
の参加があり、中にはカードをシールでデコレーション
してくださったり、何回も参加してくださった方もいらっ
しゃいました。単に何かおまけを付けるのではなく少し
面白みを加えて、お客さまが参加できるものと考え
ましたが、自分で企画したものにこれほど反響があるこ
ううれしいです。今後の参考にさせていただこうとカードに
アンケートも付けたところ、プラスチックケースのお弁当
の復活販売への声が非常に多く寄せられたことから、
その声にお応えし、復活販売を決定しました。同様にコンサ

ドーレ必勝弁当やファイターズ
応援弁当などの期待度も高い
ので、今後、種類を増やして
いきたいと思っています。

食品衛生を重視しながら アイデアを

当社の飲食事業は、食品衛生が最も重要だと考えて
おり、私も工場に出向いて衛生検査を行っています。販売
しているお弁当の衛生基準は非常に高く、その分使用で
きる食材や製造メーカーも限られてしまいますが、その
中で味のバランスや盛りつけの
ほか、札幌ドームオリジナル包材
を取り入れるなどアイデアを練り、
お客さまにより喜んでいただける
お弁当を目指しています。

商業部 飲食事業課
種市 桃子



お客さまにさらに楽しんで いただける飲食メニュー・ キャンペーン企画を展開

バラエティに富んだお弁当や飲食メニュー
などの開発を積極的に進めています。さま
ざまなメニューをさらに楽しんでいただくた
めに、スクラッチカードで対象メニュー引換
券が当たる
キャンペーン
や期間限定メ
ニューの販売
などを実施し
ました。



サービス品質向上のために、継続して 「接客ロールプレイングコンテスト」を実施

札幌ドームをさらに楽しんでいただくため、飲食事業者さまととも
にサービス品質向上の取り組みに力を入れています。その一環とし
て、飲食販売スタッフによる「接客ロールプレイングコンテスト」を
2014年度から毎年実施。結果は各店舗スタッフが目にする場所に
掲出し、表彰されたスタッフは「接客No.1」などのバッジをつける
ことで、意識やモチベーション向上に
つなげています。そのほか、覆面調査に
よる接客チェックと結果をフィード
バックする講習会、各飲食事業者さま
の店長がサービスなどを学び合う
講習会なども行っています。



お客さまの安心のため、お弁当のアレルギーマニュアルを発信しています

アレルギーをお持ちのお客さまにも安心して選んでいただけるように、館内で販売しているお弁当に含まれる
アレルギー物質の情報は、POPやパンフレットのほかウェブサイトでもお知らせしています。

ショッピングをお楽しみいただくために

ご来場いただくお客さまに、札幌ドームならではのグッズなどのショッピングも十分に楽しんでいただけるように、店舗や商品などの充実に取り組んでいます。



フランチャイズチームとのコラボグッズや 札幌ドームオリジナルグッズも企画・製作しています

北海道コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズの公式グッズをはじめプロ野球やメジャーリーグなどのグッズ、お土産用の菓子類などを豊富に取りそろえています。チームとのコラボグッズ、札幌ドームオリジナルグッズの企画・製作にも力を入れています。



■チャームコロングッズ
札幌ドームのマスコットキャラクター「チャームコロン」グッズとしてキーホルダーやミニタオルなどを販売。

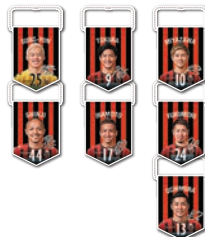


■スタンドシートバッグ
札幌ドームの座面下にピッタリ装着できる仕様のオリジナルバッグ。床に触れないため荷物が汚れません。



■ファイターズミニタベストリー
札幌ドーム限定の北海道日本ハムファイターズグッズ。全30種類で、当たりが出るとジャンボタベストリーをプレゼント。

■CS&Dミニペナントコレクション
北海道コンサドーレ札幌（CS）と札幌ドーム（D）のコラボグッズシリーズ。当たりが出ると選手集合写真をプレゼント。



観光をお楽しみいただくために

札幌ドームは観光の拠点としてもお客さまをお迎えしています。訪れたお客さまによりお楽しみいただける魅力づくりに努めています。

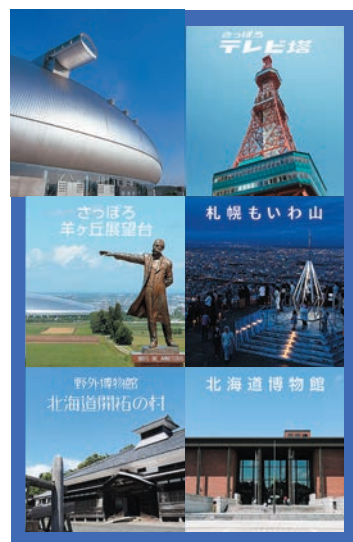
クリスマスツリーなどで 展望台を彩る 冬季装飾を行いました

冬季間に札幌ドームを訪れるお客さまに楽しんでいただけるように、クリスマスツリーや雪景色をイメージしたイルミネーションによる装飾を行いました。



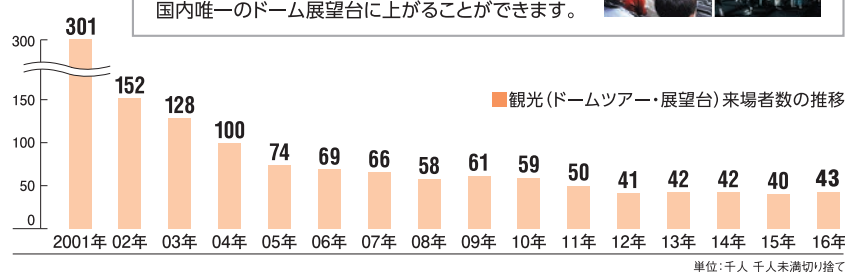
札幌市内5つの 観光施設と連携し 入場料を相互割引

札幌市内の観光施設と札幌ドームツアー・展望台、それぞれの入場券の半券のご提示で料金が割引になる相互割引を実施。2016年度は対象施設を「さっぽろテレビ塔」の1か所から5か所に増やしました。



試合日の展望台特別営業を実施

北海道コンサドーレ札幌、北海道日本ハムファイターズの対象試合日に、観戦チケット提示で入場料金が割引になる展望台特別営業を行っています。



ドームツアー・展望台

イベントがない日は、ふだん見ることのできない、ドームの「裏側」を見学できるほか、高さ53m・国内唯一のドーム展望台に上がることができます。



より便利に楽しくご利用いただくために

ご利用いただくお客さまにとって、より便利で楽しい札幌ドームを目指して、さまざまな面から利便性向上やサービスの拡充を進めています。

美しい夜景を眺めながら音楽を楽しむ 「展望台コンサート」で展望台の魅力を発信

札幌ドーム展望台の魅力を発信する一環として、美しい夜景を眺めながら音楽を楽しむ「展望台コンサート」を開催。2016年度は、北海道コンサドーレ札幌や北海道日本ハムファイターズの応援CMソングなどを担当するシンガーソングライターによる「Rune X'mas Live」を行いました。



ピラティスなどを楽しむ 「展望台運動教室」を開催

展望台で大パノラマを眺めながら、ピラティスやエアロビクスを楽しむ運動教室を開催。展望台の新たな魅力にふれた参加者の皆さまから、大好評をいただきました。



選手から直接指導を受けられる 「わくわくサッカー教室」を開催

北海道コンサドーレ札幌の選手に協力をいただき、小学生を対象にしたサッカー教室を開催。Jリーグ戦の試合終了後のピッチで、64名の参加者が選手から直接指導を受けました。



特典いろいろ「札幌ドームメンバーズクラブ」

札幌ドームメンバーズクラブは、会員特典としてチケットの先行販売・割引販売をはじめ、札幌ドームスポンサーデーなどで会員の皆さまのみご参加いただけるイベントも開催。ご入会・ご紹介キャンペーンなども実施しました。



札幌ドームメンバーズクラブ

札幌ドームで開催されるイベントのチケット販売、前売駐車券の割引販売、館内施設優待利用などの特典があり、会員証はクレジットカード機能付き。初年度年会費無料（2年目以降500円※税別）。



スタンプを集めて特典が選べる 「スタンプカード」を実施

館内の店舗などのご利用でスタンプ（シール）を20個集めると、賞品が当たる抽選に応募または対象店舗で100円券として利用できる「スタンプカード」を実施しました。



夏休み中に親子などで参加できる 「ぐるりさんぽ」を開催

夏休み期間中の観光営業日に、敷地内を散歩しながらチェックポイントを探して楽しむ企画を開催。全チェックポイントを見つけた方には参加賞や特典も用意しました。



新たな夢と感動、楽しさの提供を目指して

札幌ドームの新たな魅力を発信し、さまざまなお客さまにさらに楽しんでもらうように、当社が企画・運営を行う自主・共催イベントの開催にも取り組んでいます。

北海道最大のハンドメイドフェスティバル 「サッポロ モノ ヴィレージ」を初開催

札幌ドーム開業15周年記念イベントとして、「サッポロ モノ ヴィレージ」を初めて開催。2日間にわたって延べ1,100名を超える作家・クリエイターがアクセサリー、ファッション、イラスト、写真、雑貨、クラフト、工芸などのオリジナリティあふれるハンドメイド作品を展示・販売し、37,905名のお客さまを迎えました。出店者・来場者の皆さまにご好評をいただき、2017年度も開催が決定しています。

北海道最大のハンドメイドフェスティバル
サッポロ モノ ヴィレージ
2016.6.25 SAT / 26 SUN 札幌ドーム



北ガスグループ 6時間リレーマラソン

2016年度で開催6回目を迎え、参加者の皆さまが毎年楽しみにしてくださるイベントとして定着。家族や職場の仲間などでチームを組み、1周2kmの特設コースで6時間の周回数を競う種目などを実施しました。



トドック10th presents ふわふわアドベンチャー

スタンド席を利用した巨大すべり台やキャラクターなどさまざまな大型エアー遊具が屋内アリーナに登場。子どもたちに大人気の冬休み恒例のイベントです。



豊平区×札幌ドーム スポーツバイキング

豊平区と共同で企画し、札幌ドームを無料開放してスポーツのアトラクションを多数用意。運動教室やスポーツ・ゲーム体験など、子どもから大人までお楽しみいただきました。



ゴールデンマーケット in 札幌ドーム

北海道最大規模のフリーマーケット「ゴールデンマーケットin札幌ドーム 冬の特別版」を開催し、屋内アリーナに古着やアート、趣味の収集品などの約600のブースが出店。北海道コンサドーレ札幌トークショーや人気キャラクターの記念撮影会なども行われました。



アリーナランニング&ウォーキング

屋内アリーナをコースとして特別開放する「アリーナランニング&ウォーキング」を前年度に引き続き2016年度も開催。1周約400mのコースでランニングとウォーキングを快適に楽しんでもらうほか、「キッズかけっこ教室」などのイベントも実施しました。



市民の皆さまに、より多くご利用いただくために

札幌ドームの屋内アリーナやサッカー練習場などを市民の皆さまにもご利用いただいています。また、地域の皆さまの健康のお役に立てるようにトレーニングルームも運営しています。

健康・体力づくりの場として 広く親しまれるトレーニングルーム

トレーニングルームは、気軽に健康・体力づくりができる場として地域の皆さまに広く親しまれています。利用料金は大人1回500円(入会金・年会費など不要)で、トレーナーが常駐。運動教室を随時開催し、初心者の方にも安心してご利用いただける機会を積極的に提供しています。



無料開放デー

日頃のご利用に感謝を込めて無料開放デーを開催。初めての方にも気軽にトレーニングルームに足を運んでいただく機会を提供しています。



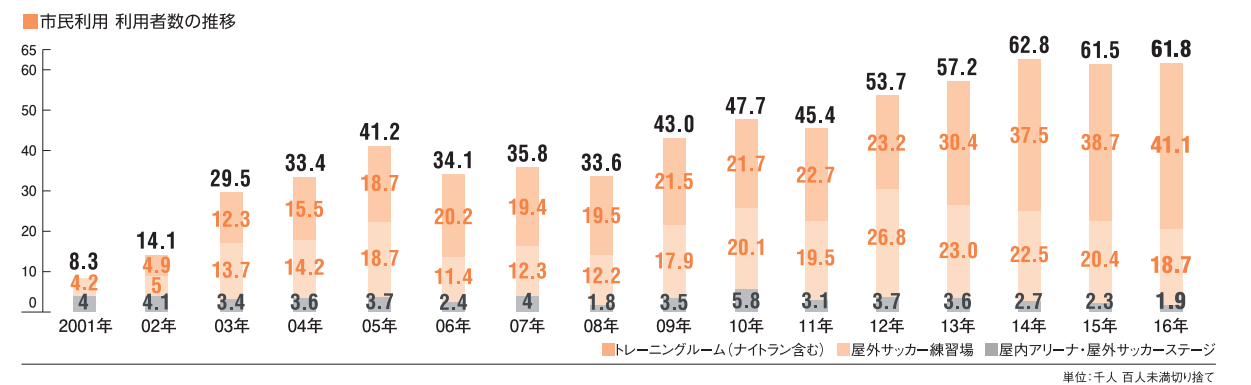
マシン更新

各種トレーニングに対応できる20機種37台のマシンを完備。2016年度はバイクなどの有酸素マシンをリニューアルしました。次年度以降も順次、最新のマシンに更新予定です。



札幌ドームNIGHT RUN 専用無料ロッカーを新設

寒さや雪の心配をせずにランニングを楽しんでいただくため、3階コンコースの一部を1周716mの特設コースとして一般開放。今季は11月から4月までの計48日間実施しました。ランナーの皆さまのご利用が年々増えており、2016年度はご要望にお応えして専用の無料ロッカーを設置しました。



野球・サッカー等一般利用

屋内アリーナは草野球をはじめサッカー、レクリエーションでも利用可能。サッカーは屋外の天然芝・人工芝練習場、ホヴァリングサッカースタジアムもご利用いただけます。



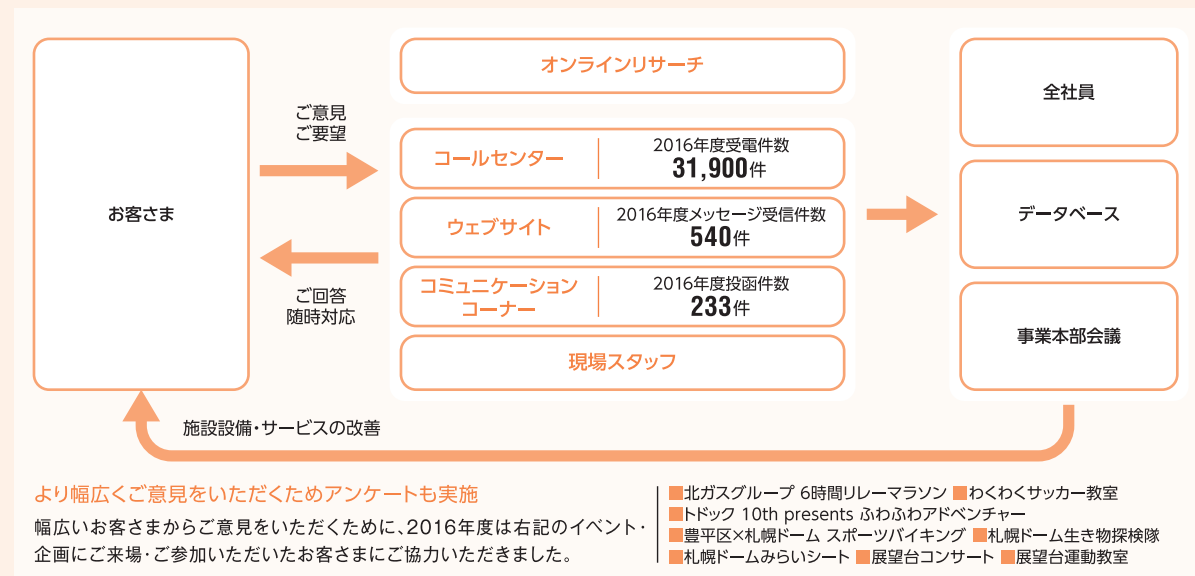
ホヴァリングサッカースタジアム 更新に向け準備を進めています

2018年度中の芝の張り替えを目指し、2016年度から約2年をかけて開業以来初めてとなる芝生の育成を天然芝練習場などで行っています。



お客さまの声をかたちに

お客さまの声は、私たち札幌ドームにとって貴重な財産です。
私たちにお届けいただいた声を少しでもかたちにできるように、
学ぶ姿勢を持って、真摯に耳を傾けています。



コールセンター、ウェブサイト、館内のコミュニケーションコーナーに寄せられた貴重なご意見は、電子化して経営層を含めた全社員に配信。すべてデータベース化し、十分な検討が必要なご意見については、事業本部会議にて改善に向けた議論を重ねています。すぐに解決できないご要望などについては、中長期的な課題として共有し、継続的な調査・検討を行っています。

P.26 2016年度、お客さまの声がかたちとなりました

2016年度、お客さまの声がかたちとなりました

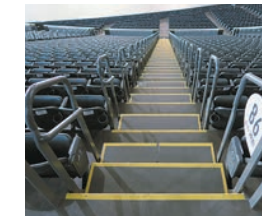
コールセンター、ウェブサイト、館内のコミュニケーションコーナーに加え、
オンラインリサーチを通じてお寄せいただいたお客さまの声をふまえ、
施設設備やサービスの改善などに取り組んでいます。

より便利に快適にご利用いただくための改修工事などを実施

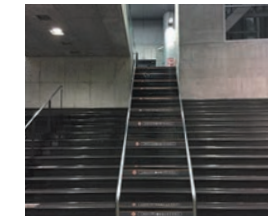
お客さまのご意見やご要望を参考に、2016年度はスタンドの階段手すりの増設など、
より便利に快適にご利用いただくための施設改修や新たなサービス導入を行いました。

手すりを増設

お客さまからのご要望が寄せられていたスタンド（観客席）階段の上り下りの負担を軽減するため、これまで片側にしかなかった手すりを両側にあるよう2018年度までの2か年で順次増設しています。このほか、コンコース大階段やバス停口階段にも手すりを増設・新設しました。



■スタンド階段
持ち手部分が2段で、お子さまも利用しやすい形状の手すりを増設。



■コンコース大階段
手すりを一部移設・増設し、大勢が座った状態でも通行ルートを確認。



■バス停口階段
敷地内への出入口（バス停口）にある階段に手すりを新たに設置。

2Fコンコースに女性用トイレを増設

外野側（サッカー時バックスタンド側）の多目的トイレに、女性用トイレの個室を増設。6室×2か所＝計12室増やしたことで、コンコース（1・2F）の女性用トイレの数はこれまでより約6.7%増加しました。



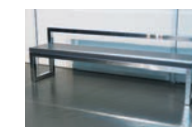
マルチディスプレイを新設

コンコース大階段前の壁面に、大型マルチディスプレイ（60インチ16面・縦3.03m×横5.35m）を新設。試合中継映像などをより鮮明にご覧いただけるようになりました。



2Fコンコースにベンチを設置

2Fコンコースにベンチを22台設置。イベント時の飲食や休憩用として、どなたでもご利用いただけます。



アリーナ音響設備を更新

アリーナ内に均一に音を届けられるタイプのスピーカーに更新。BGMやアナウンスが聞き取りやすく、より迫力ある演出も楽しめます。



無料Wi-Fiサービスを導入

札幌市の無料Wi-Fiサービス「Sapporo City Wi-Fi」をご利用いただけるようになりました（利用可能エリア：スタンド、1Fコンコースの一部など）。



「オンラインリサーチ」モニター座談会でも改善事例などをご紹介

「オンラインリサーチ」では、施設・設備やサービスなどの改善に向けてモニターアンケートを行っているほか、モニター座談会開催時には、お客さまの声を反映してこれまでに改修した館内の箇所などを見学いただき、当社の取り組みについても理解を深めていただいています。



地域とともに成長するために

市民道民の皆さま、地域の皆さまに親しまれる施設であるために、
当社は地域社会に貢献する活動にも力を入れ、
地域社会の一員として、ともに成長していくことを目指しています。



P.28 地域社会のための取り組みに力を入れています
P.29 未来を担う子どもたちのために

地域社会のための取り組みに 力を入れています

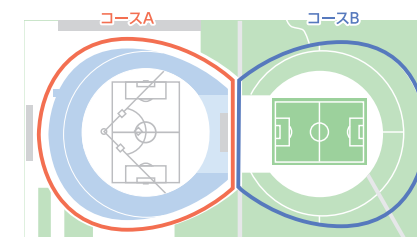
地域社会の一員として、さまざまな事業を通じて
地域に貢献していくことに力を入れています。
また、地域の皆さまの活動のサポートにも積極的に取り組んでいます。

大型イベントの開催を通じて、地域経済の活性化に貢献しています

2016年度 イベント	開催日数	
スポーツイベント(北海道コンサドーレ札幌戦、北海道日本ハムファイターズ戦 ほか)	97日	2,526,540人
コンサート(EXILE ATSUSHI、嵐、関ジャニ∞)	5日	241,214人
コンベンション・その他(北ガスグループ6時間リレーマラソン ほか)	32日	224,583人
計	134日	2,992,337人

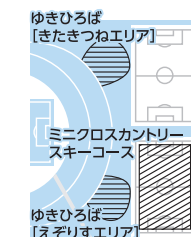
ランニングなどに便利な 距離表示サインを設置

敷地内でのランニングやウォーキング
などにご利用いただけるように、距離表示
サインを通路に設置。札幌ドームの建物
の周りを走る全長750mのコースAと、
ホヴァリングサッ
カーステージを見下
ろしながら1周でき
る全長700mの
コースBがあります。



ミニクロスカントリースキーコースを オープン

冬期間、敷地内にある屋外サッ
カー練習場を開放し、クロスカ
ントリースキーを楽しめる専用
エリアとしてオープン。1周およ
そ750mのコースを滑ることが
でき、1月から3月までの計39
日間で地域の愛好家の方など
92名にご利用いただきました。



「ゆきひろば」を オープン

前年度に引き続き、敷地内で気軽に雪遊びを楽しん
でいただく「ゆきひろば」をオープン。無料でそりや
ゴムチューブの貸し出しも行い、1月から3月までの
計51日間で3,774名にご利用いただきました。



協賛・寄付活動に取り組んでいます

地域社会への貢献に力を入れている当社は、その一環として、北海道を代表
するさまざまなイベントに協賛しています。また、札幌市「さぼーとほっと基金」
「とよひらまちづくりパートナー制度」への協力、NPO法人北海道野球協議会
への観戦チケット贈呈なども行っています。

- 協賛
- 道新・UHB花火大会
 - さっぽろ雪まつり
 - YOSAKOIソーラン祭り
 - ミュンヘンクリスマス市 in SAPPORO
 - 札幌交響楽団維持会員
 - 北海道国際音楽交流協会賛助会員
 - カルチャーナイト
 - 豊平区成人の日

- 寄付活動
- さぼーとほっと基金
 - 札幌市が寄付を募り、まちづく
り活動に助成する制度に協力。
感謝状をいただきました。



地域に密着した活動に 積極的に参加しています

地元町内会の一員として、地域の活動
にも積極的に参加し、支援を行って
います。2016年度は「花ランド事業」
に参加し、地域の皆さまとともに花
植えを行ったほ
か、町内会清掃活
動に協力しました。

■町内会清掃活動



みらいを担う子どもたちのために

札幌ドームの試合観戦に招待する事業や教育、スポーツに関連する支援活動などを通して、みらいを担う子どもたちの健やかな成長を応援しています。

観戦招待事業「札幌ドームみらいシート」

「札幌ドームみらいシート」は、「初めての札幌ドーム」をコンセプトに、札幌ドームで開催される北海道コンサドーレ札幌と北海道日本ハムファイターズの公式戦に札幌市内の小学校3年生とその保護者さまをご招待するプロジェクト。子どもたちがスポーツへの関心を高め、学校単位での保護者さまとの観戦を通して、地域・学校・家族の絆が深まることを期待しております。2016年度は98校2,332名にご観戦いただきました。



■お子さまからのメッセージ



いつもテレビでみてるチームが目の前で見たらすごくうれしかった。

まわりに なかよしな友だちがいてとても楽しくかんsenseしてきました。

すごく広くてびっくりした。ファイターズのせん手を生で見れてうれしかった。

グラウンドが近くて、たのしかった。選手も近くて、見れてよかった。

初めて生で試合も見れて楽しかった。

■札幌ドームみらいシート
ご招待実績(2008年～2016年)
・コンサドーレ戦 ……76試合
・ファイターズ戦 ……418試合
計21,286名

【特別ご招待】
・コンサドーレ戦 ……8試合
・ファイターズ戦 ……19試合
児童養護施設および
母子生活支援施設 750名
市内公募 550名
計22,586名

■保護者さまからのメッセージ

みらいシートでの観戦後親子で日本ハム戦を観戦することになりました。きっかけを作ってくれてありがとうございました。

「みらいシート」とても夢のある企画で実際に行くともっと楽しかったです。子どもは初めてプロ野球観戦に興味を持ちました。ぜひこの企画を続けてほしいと思います。

みらいシートでご観戦された皆さまには、毎年アンケートにご協力いただいております。お寄せいただいたご意見は社内で共有し、施設の管理運営に生かしております。ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。

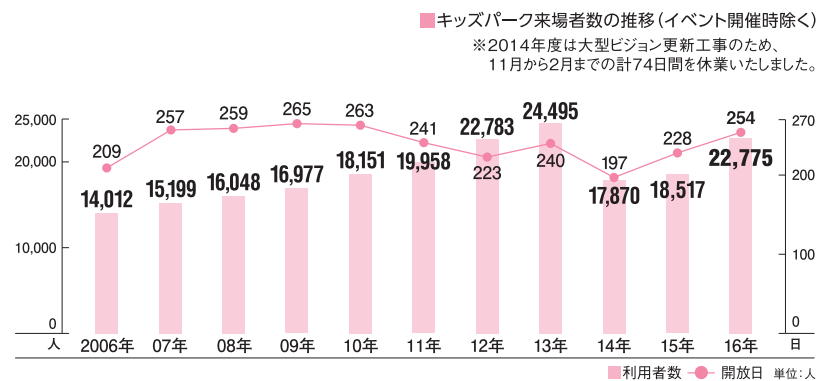
児童養護施設・母子生活支援施設などの皆さまに観戦チケットを贈呈しました

「札幌ドームみらいシート」事業の一環として、札幌市内の児童養護施設や母子生活支援施設などの皆さまにみらいシートチケット150名分を贈呈。札幌市から感謝状を授与されました。



大型複合遊具「キッズパーク」は地域の子どもたちに親しまれています

札幌ドーム3階にある「キッズパーク」は、子どもたちが元気に遊べる大型複合遊具。イベントが開催されない日には無料でご利用いただくことができ、地域の子どもたちに親しまれています。



「第6回 札幌ドームこども絵画展2016」

小学生を対象に札幌ドームをテーマにした絵画作品を募集し、「第6回 札幌ドームこども絵画展2016」を開催。寄せられた262点の作品を審査し、札幌ドーム大賞をはじめとする35点の入賞作品を決定しました。入賞作品はウェブサイトで紹介したほか、全応募作品を館内に展示し、ご来場されたお客さまに楽しんでいただきました。



■札幌ドーム大賞

燃えろ!燃えろ!
コンサドーレ!!
黒坂 蕾美さん(小学2年生)

【作品に対するコメント】
赤と黒だらけの会場、2万人を超える人達の応援に私の気持ちも盛り上がりました。お父さん、またコンサドーレの試合に連れて行ってね!!



表彰式には「コンサドーレ特別賞」と「ファイターズ特別賞」審査員であるドーレくんとB・Bも参加。応募作品は事前に社員投票を行い、入賞決定の参考にしました。



■金賞 小学1・2年生部門
将来ファイターズの
エースピッチャーになる
羽田野 龍千さん(小学1年生)



■金賞 小学3・4年生部門
今夜は、スシパーティー!!
高橋 凜太さん(小学4年生)



■金賞 小学5・6年生部門
札幌ドーム音楽祭
横浜 里利香さん(小学6年生)

アマチュアスポーツを支援しています

札幌市との協定に基づいてアマチュアスポーツ大会の開催を支援しているほか、当社独自の支援も実施。「2017“コンサドーレ・エスポラーダカップ”全道市町村サッカー・フットサル大会」「2016 FIGHTERSジュニア王座決定戦」などの運営にさまざまなサポートを行っています。



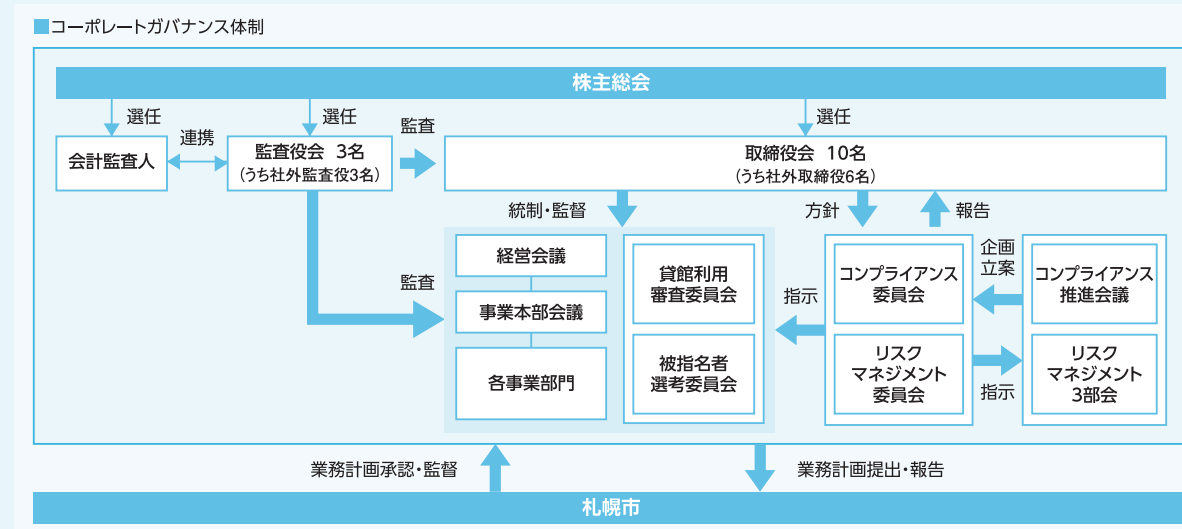
教育支援にも協力しています

小学校の総合学習などにも協力し、札幌ドームの環境への取り組みについて説明しています。そのほか、2016年度は当社役員が札幌国際大学の講義に特別講師として招かれました。



信頼される企業であるために

私たち株式会社札幌ドームは、公正に事業を推進し、信頼される企業となるよう、コンプライアンスを徹底するとともに、さまざまなリスクに備えています。



P.32 コンプライアンスの徹底を図っています

P.32 さまざまなリスクに備えています

コンプライアンスの徹底を図っています

コンプライアンス委員会と、委員会のもとで具体策を企画立案するコンプライアンス推進会議を設置しています。

コンプライアンス教育研修を実施

コンプライアンス意識向上のための各種教育研修を行っており、2016年度は全社員を対象とした集合研修として当社顧問弁護士の諏訪裕滋氏に「個人情報保護について」、佐川慎悟国際特許事務所の弁理士・小林基子氏に「知的財産権について」をテーマに講演していただきました。



新入社員を対象とした研修

コンプライアンスに関する基礎的な知識や倫理観を高めるため、新入社員研修の中で教育に取り組んでいるほか、e-ラーニングを活用した新入社員対象のコンプライアンス研修も継続的に実施しています。

相談窓口の設置

法令違反や不正行為などのコンプライアンス違反の未然防止、早期発見を目的に相談窓口を設置しています。複数の社内窓口と、当社顧問弁護士による社外窓口を置き、適切に対応できる体制を整備しています。

さまざまなリスクに備えています

リスクマネジメント委員会において「リスク対応方針」を定めるとともに、3つの部会を設置し、具体的なリスク対応策などを検討しています。

■3つの部会と主要テーマ

経営管理リスク部会	事業運営リスク部会	危機管理部会
コンプライアンス、業績および投資等に関する事項	イベント・施設設備管理、災害・パンデミックに関する事項	危機管理マニュアルの策定・運用

設備などのトラブル対応訓練を実施

施設内での万が一の設備トラブルなどに備え、対応訓練を実施。ホヴァリングサッカーステージ移動に伴う開閉式可動席での機械トラブルを想定し、重機で席を開閉する訓練を行いました。



安否確認システムの活用

大規模地震発生時に社員の安否確認を迅速・効率的に行うためのシステムを導入。社員が登録したアドレスにメールが配信され、安否状況を回答するシステムで、操作方法を体験するデモを定期的の実施しています。

暴力団等排除に向けた対策に取り組んでいます

暴力団等の排除に向けた取り組みを、プロ野球、Jリーグそれぞれで実施しています。北海道警察・北海道暴力追放センターなどとも連携し、お客さまに安心して観戦いただける環境を整備しています。

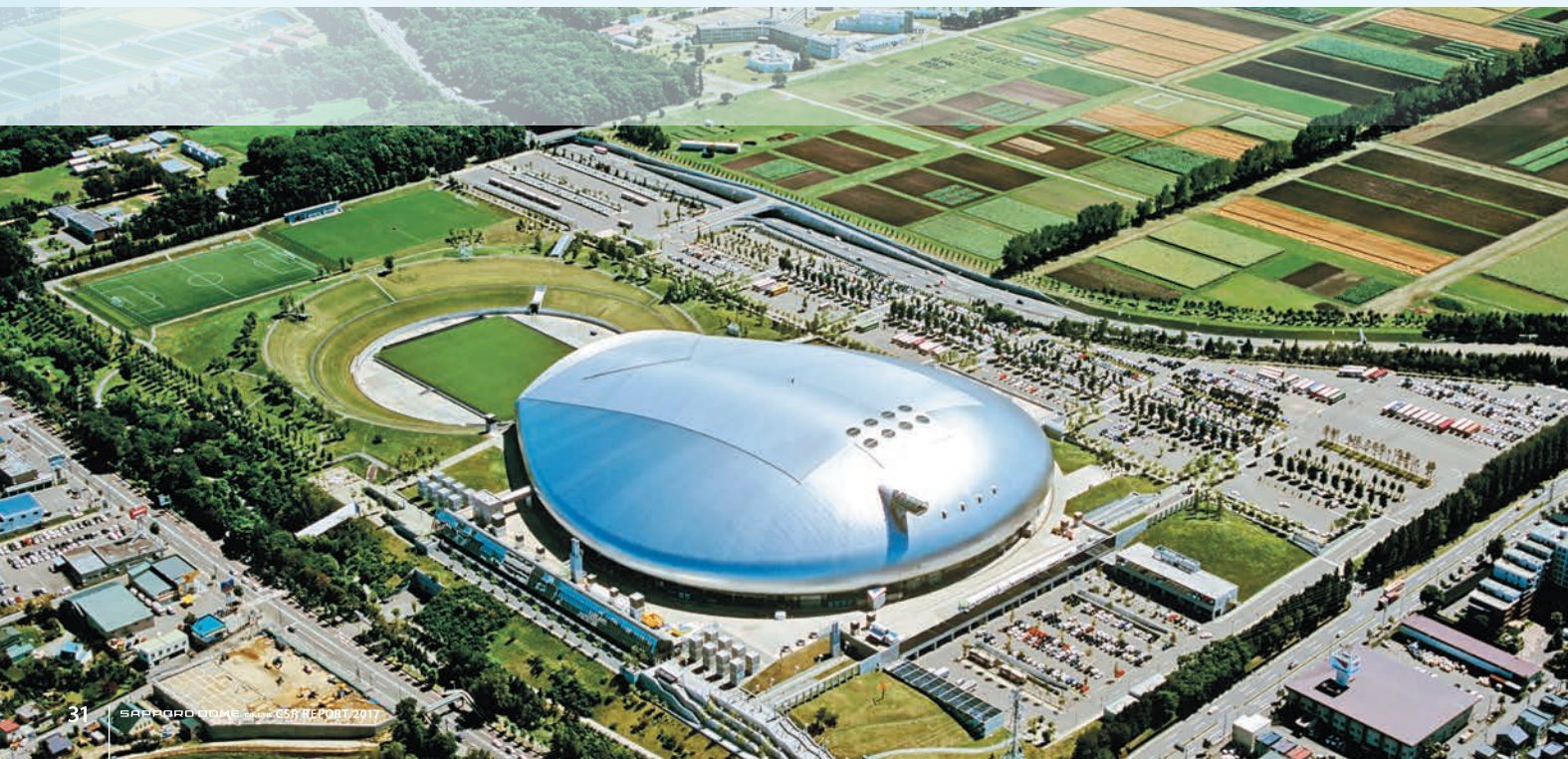


[プロ野球での取り組み]

北海道警察・北海道暴力追放センターにより、不当要求防止責任者専任事業者として認定。「北海道日本ハムファイターズ、札幌ドーム暴力団排除対策協議会」に加盟し、シーズン開幕前に実務者連絡会を開催して活動計画を議論しています。また、営業担当社員が暴力団排除対策協議会講習に参加するなど、お客さまが安心してご観戦していただける環境づくりを進めています。

[Jリーグでの取り組み]

Jリーグによる「暴力団等排除宣言」(2012年2月)を試合時に掲出。宣言に基づき、安全なスタジアムでスポーツをご観戦していただくための環境整備などに取り組んでいます。



誇りに思える職場であるために

仕事と生活の調和を図りながら、社員一人ひとりが成長していくことは、「札幌ドーム」としての成長につながります。全社員が誇りに思える職場を目指し、環境の整備を図っています。



P.34 社員全員が誇りに思える職場を目指しています



社員全員が誇りに思える職場を目指しています

お客さまに最高のホスピタリティをご提供するには、社員一人ひとりが日々成長するとともに、安心して働ける環境づくりが必要です。家族にも誇れる仕事・職場を目指し、取り組みを進めています。

階層別の社内研修などを実施

戦略的な人材育成として、入社年数や役職などによる3つの階層ごとに、テーマを変えて階層別の社員研修（外部公開講座）を実施。そのほか、希望者が受講できる選択研修も行っています。

VOICE

「アイデア提案表彰制度」でより良い職場環境に

社員のアイデアを募り、表彰する制度を導入

2016年度から導入した「アイデア提案表彰制度」は、会社をより良くするためのアイデアを大小問わず社員から募り、良いアイデアを表彰する制度です。提案されたアイデアは月1回、事業本部会議で議論され、実施・改善すべきと判断したものは、担当部署で具体的な検討を進めるとともに、その内容を全社にフィードバックしています。制度導入のきっかけは、2014年度に立ち上げたオフィス改革検討チームでの議論でした。このチームは、主に従業員満足度や生産性を向上させるための社員からのさまざまな意見や要望を集約し、職場環境などの改善案を提案することを目的としていました。当時から、お客さまからのご意見・ご要望については、すべて社内でも共有し、会議体などでの議論を通して、改善策を検討していく仕組みは機能していましたが、社員からの意見や要望を吸い上げ、改善につなげる仕組みは確立していませんでした。この



チームでの議論を通して、数多く出てきた社員からのアイデアを活用していく方法はないか。そう考えたことが制度導入につながりました。こうして

海外視察研修制度を設けています

諸外国の優れたスポーツ施設やイベント施設などを視察し、運営方法やノウハウなどを学ぶ海外視察研修制度を設けています。現地担当者から直接ヒアリングなどをし、社員の国際的な視野を広めています。

制度がスタートし、2016年度は26件のアイデアが提案されました。アイデアの内容は、経営に関すること、人材育成、社内環境、福利厚生など多岐にわたりました。このうち、アイデアの実現性や独創性、改善に対する貢献度などを基準に役員らによる選考がなされ、全社員を前に社長から表彰が行われました。見事「金賞」受賞となったアイデアは、「委託事業者さまから学ぶ機会をつくる」というもので、実施に向けてこれから本格的に検討していきます。

社員の意見も大切な経営資源として活用

今後は、提案されたアイデアをもとに部署を超えて社員間で議論する機会として定着し、活性化していくよう、より当社に合った制度に見直していくことも考えています。社員の意見もお客さまの意見と変わらず大切な経営資源であると考えていますので、これを存分に活用し、社員にとってもお客さまにとってもより良い札幌ドームになればと思っています。そして、こうした取り組みの積み重ねにより、将来的に会社の風土やコミュニケーションが一層良くなることを期待しています。

総務部 総務課 課長代理
武田 健次郎



ITを活用し業務を効率化

業務の効率化やコスト削減、セキュリティ強化などを目的に、ITの活用を積極的に進めています。新たなウイルス対策などのためにセキュリティの見直しを随時行っているほか、2016年度は、予算管理システムの導入などによって業務の効率化を推進しました。



ワークライフバランスの推進

当社は、「札幌市ワーク・ライフ・バランス認証企業（ステップ2）」としてさまざまな取り組みを推進し、柔軟で効率的な勤務体制をとることで仕事と生活の調和を図る環境づくりなどを行っています。幅広い福利厚生メニューを提供しているほか、社員が家族とフランチャイズチームの試合を観戦する機会なども設けています。



環境にやさしい施設であるために

札幌ドームは「環境方針」に基づき、
お客さまのご協力をいただきながら、みらいの子どもたちのために
「環境にやさしい施設」を目指す活動に取り組んでいます。



- P36 環境方針・ECO MOTION 2021
- P37 法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます
- P38 省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします
- P39 廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します
- P41 緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます

〔環境方針〕

私たちは、みらいの子どもたちに美しい地球を残し、
札幌ドームを環境にやさしい施設として維持し続けることを使命として、
訪れるすべてのお客さまとともに、
よりよい環境づくりに向けて取り組みます (2008年3月策定)

環境方針を実現するため、開業20周年を迎える2021年に向けて重点的に取り組む指針と、
2011年を基準年とした数値目標を2013年3月に策定しました。

ECO MOTION 2021 ～2021年に向けた環境目標

① マネジメント体制の推進・法令遵守の徹底

法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます

環境マネジメントシステムを運用し、継続的に改善を行います
環境負荷を正確に把握し、環境関連法令を遵守します
CSRレポートなどを活用し、環境への取り組みを公開します

② 低炭素社会に向けた取り組み

省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします

お客さまの安全や快適さを保ちつつ、エネルギー消費抑制に努めます
調査研究を進め、効果的な環境設備投資を行います
施設の特性を最大限に活かし、積極的な運用改善を行います

■2021年に向けた数値目標 エネルギー使用量を2011年度より10%削減します

③ 循環型社会に向けた取り組み

廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します

お客さまとともにごみの分別を進め、札幌ドーム内での資源循環を実現します
事業活動に伴うごみを削減するとともに、分別を徹底します
グリーン購入を積極的に進めます

■2021年に向けた数値目標 廃棄ごみを2011年度より30%削減します
リサイクル率を60%以上にします

④ 生物多様性の保全と環境啓発活動の推進

緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます

生物多様性に配慮して敷地を保全し、多くの生き物が訪れる環境を維持します
子どもたちに環境を学ぶ機会を提供します
社員自らが積極的に学び、環境への取り組みを進めます

■2021年に向けた数値目標 30種以上の鳥が訪れる環境を維持します
環境啓発企画への参加者を延べ10万人にします

さっぽろエコメンバー



北海道グリーン・ビズ認定



2009年度「創意あふれる取組」部門
(もったいない心分野)に認定されました

グリーン購入ネットワーク



グリーン購入に取り組んでいます

国連生物多様性の
10年日本委員会認定



生物多様性
さっぽろ応援宣言企業

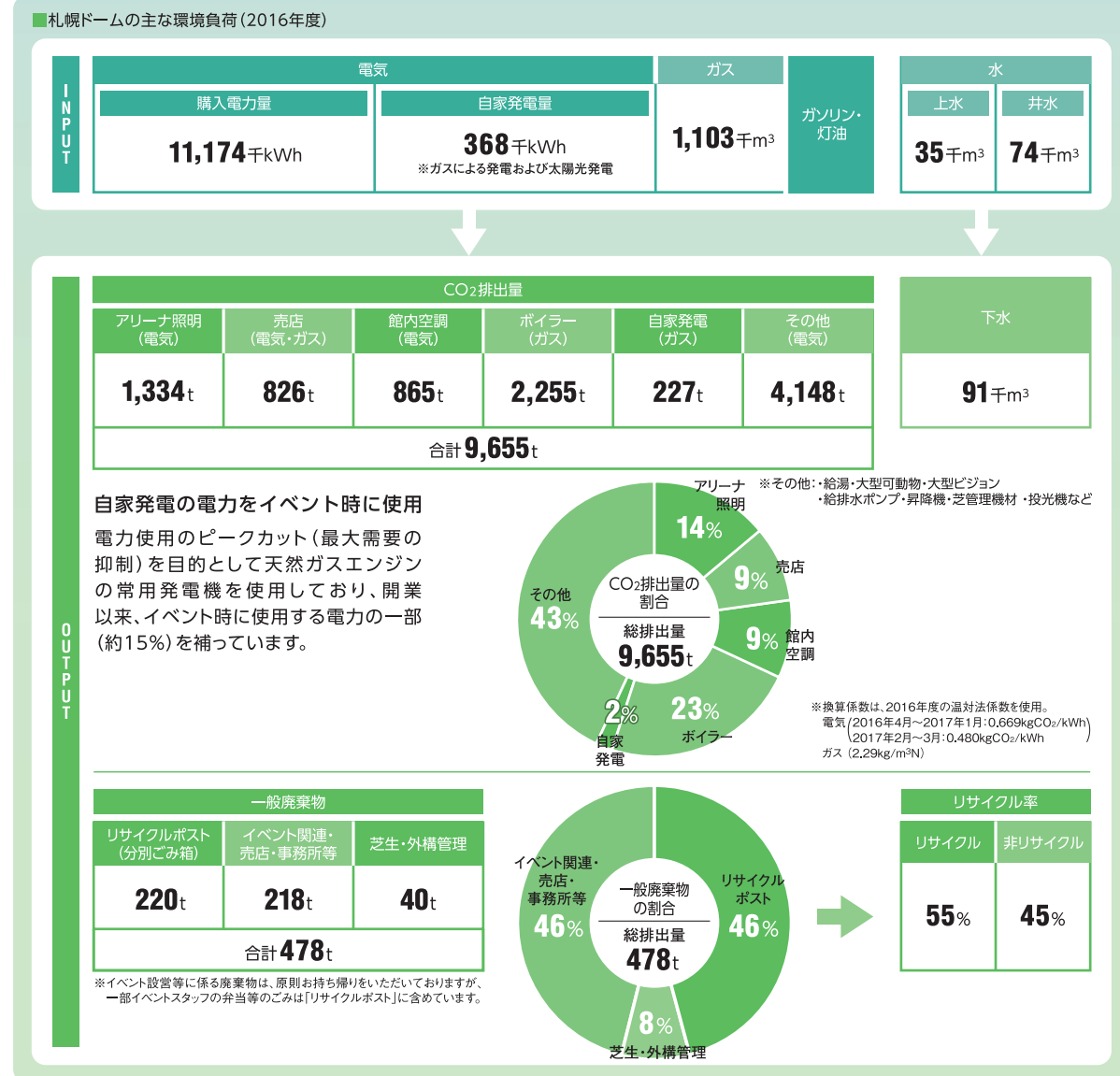
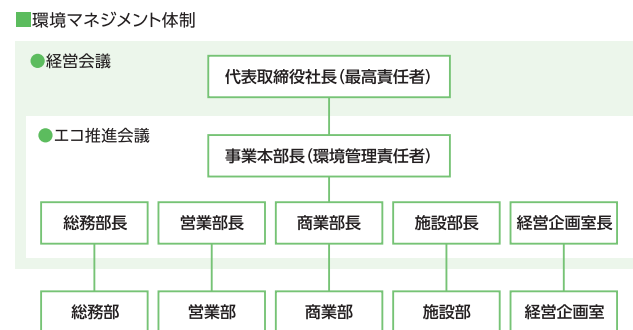


法令を遵守し、環境経営実現に向けて取り組みを進めます

札幌ドームは、「環境方針」の実現に向けて、関連法令の遵守を徹底し、環境に対する負荷を正確に把握したうえで、環境経営の推進に取り組んでいます。

環境マネジメント体制の推進

環境への取り組みを推進していくために、「エコ推進会議」を設置し、環境経営の実現を進めていく体制を整備しています。各部門の環境活動状況の把握と具体的な対応策を協議し、さらなる省エネルギーや廃棄物排出量の削減、リサイクル率の向上などに向けて検討を進めています。



省エネルギーに努め、CO₂排出量を減らします

お客さまの安全性や快適性を保ちながら省エネルギーを推進し、CO₂排出量削減を図るため、環境にやさしい設備の活用や運用方法の改善などに積極的に取り組んでいます。

〔数値目標〕 ■ エネルギー使用量を2011年度より10%削減します

省エネ型の設備を積極的に活用しています

CO₂排出量を削減するために、2007年より省エネルギー型の空調用送水ポンプ制御システム「エコノパイロット」などを導入。省エネ設備の導入や制御改良などを積極的に進めることで、省エネルギーを推進しています。



省エネを考えて照明モードを緻密に制御

イベント開催、ドームツアー、清掃など、利用形態に応じた27種類の照明モードを緻密に制御し、省エネを推進。プロ野球終了後のグラウンド整備時の照明モードを2009年より見直し、プロ野球開催時の電力消費量を5%削減しています。



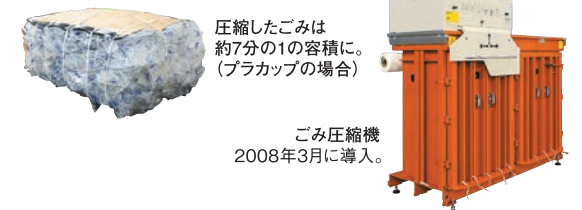
照明のLED化を進めています

省エネルギー対策の一環として、照明のLED化を順次進めています。2016年度は、コントロールルームの音響エリアの照明などをLED化しました。



ごみを圧縮して減容化

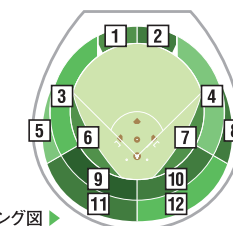
回収したプラカップ、容器包装プラスチック、紙パックなどを圧縮して減容化することで、ごみの搬送回数を減らし、CO₂排出量を削減しています。



環境に配慮した設計を活用した運営を心がけています

スタンド席の局所空調

アリーナすべての冷暖房では多くのエネルギーが必要になるため、スタンド席の足元から冷・温風が吹き出す座席周辺に的を絞った局所空調を実施。さらに、スタンド全体の空調ゾーニングによる観客数に応じた冷暖房で、省エネルギーを図っています。

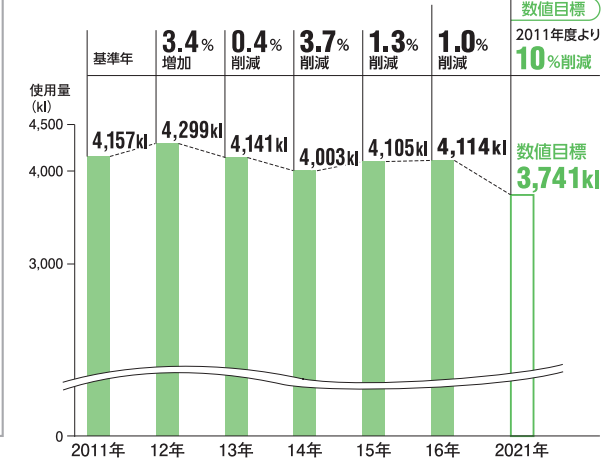


自然換気・自然採光を利用

天井の開閉式パネルとオープンアリーナ・屋内アリーナの開閉式扉開口部の操作で自然換気。壁のガラス面や天窓の自然採光も活用し、エネルギー消費を抑えています。



エネルギー使用量(原油換算)の推移



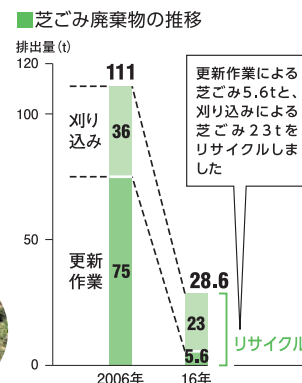
廃棄物を削減するとともに、資源循環を促進します

お客さまにご理解とご協力をいただきながら、主催者さま、委託事業者さまとともに廃棄ごみの削減やごみ分別などに取り組み、リサイクルの推進を図っています。

【数値目標】 ■廃棄ごみを2011年度より30%削減します ■リサイクル率を60%以上にします

芝生の更新作業で発生する芝ごみのリサイクルによって廃棄ごみを大幅に削減

地面が固くなると空気の通り道がなくなって根が呼吸しづらくなるため、天然芝サッカーグラウンド（2面）の芝の更新作業として、芝生に穴を空けるコアリングを行っています。この作業で大量に発生する芝・根と砂が混じった芝ごみは、2007年度から分別を開始し、砂をサッカーグラウンドのメンテナンスに再利用。2014年度からは芝・根の一部を堆肥に、2015年度からはコアリングしたものを緑化資材として緑地に敷きつめて再利用する取り組みも始め、廃棄ごみ削減に努めています。



■コアリング

良質な芝の育成には欠かせない作業で、札幌ドームでは年2回程度実施

ウェブサイトでリサイクルの動画を公開

札幌ドームが取り組んでいるごみの分別・リサイクルについて広く理解を深めていただくため、プラスチックカップをプラスチック原料にリサイクルする過程の動画をウェブサイト公開しました。



売店や事務所などから排出される事業系ごみも分別回収を実施

当社社員が事務所内などでごみの細かな分別回収に取り組んでいるほか、飲食事業者さまにもご協力いただき、売店などから出る事業系ごみの分別回収を行っています。

■分別ステッカー

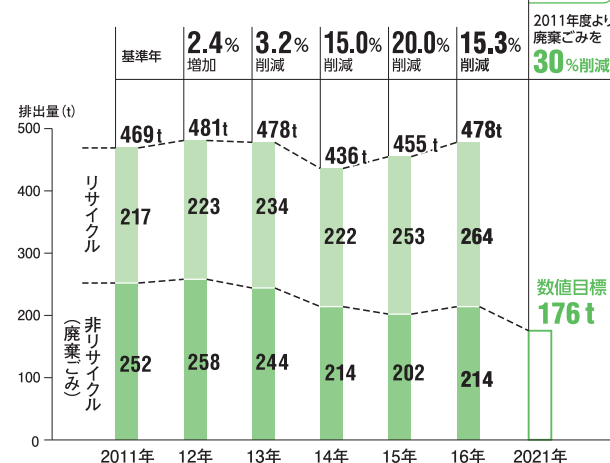


お弁当容器にリサイクルシールを貼付

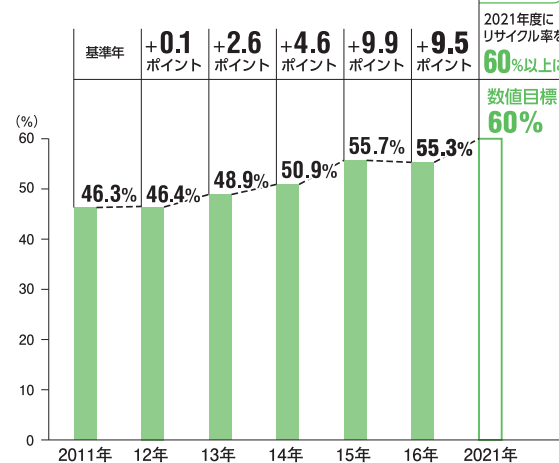
ごみの分別回収の周知を進めるため、販売しているお弁当容器にリサイクルシールを貼っています。シールを通して、リサイクルへの協力を呼びかけています。



■一般廃棄物の排出量の推移

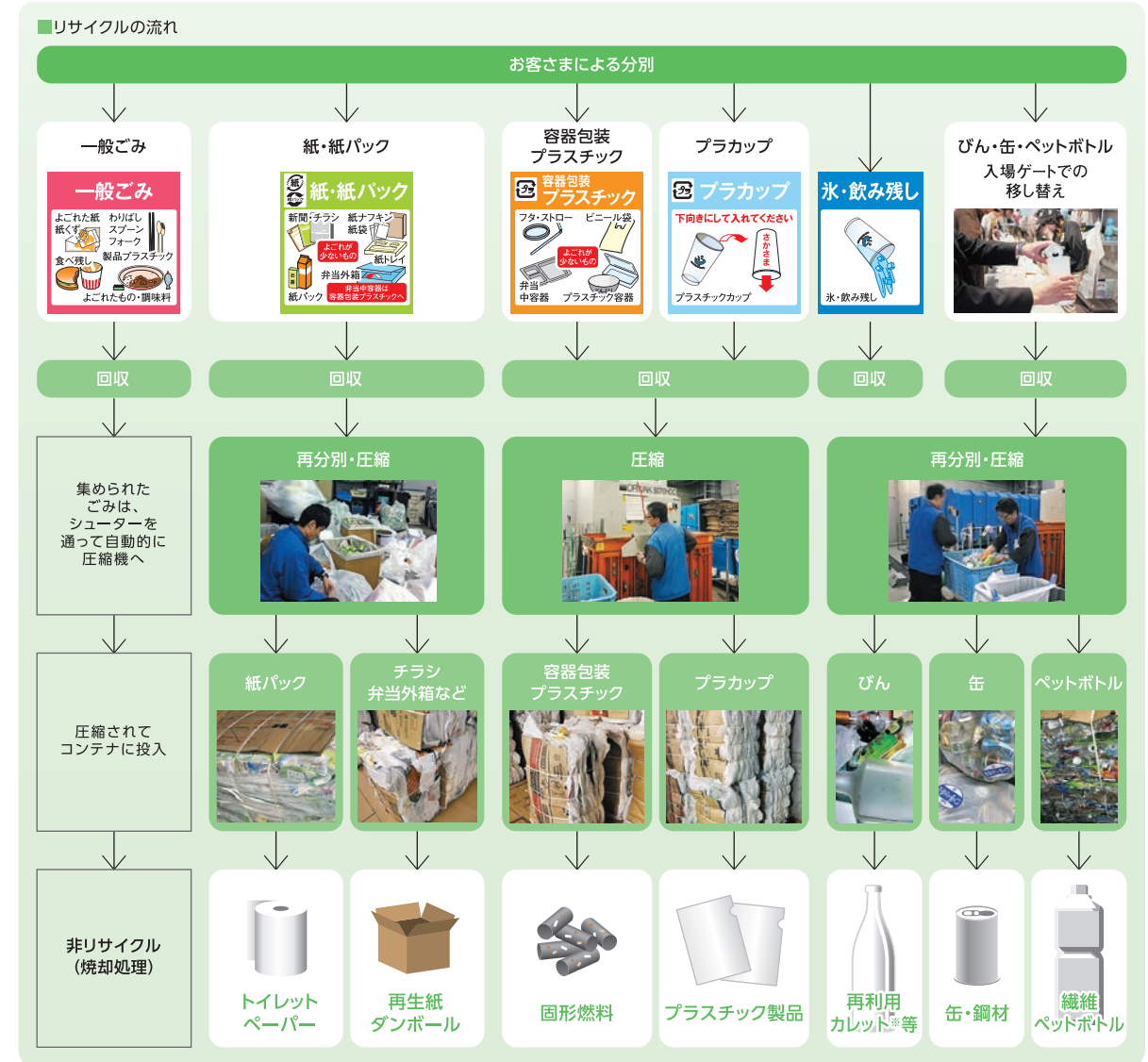


■リサイクル率の推移



お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに資源循環に取り組んでいます

札幌ドームは、お客さま、主催者さま、委託事業者さまとともに資源循環に取り組み、ごみの分別回収を行ってリサイクルを推進しています。2016年3月からは、分別回収したプラスチックカップの処理方法を変更し、工場で再生プラスチックの原料（ペレット）にした後、プラスチック製品へと加工して国内で再利用されています。



緑豊かな札幌ドームで、お客さまとともに環境を学びます

周囲の環境や生態系に配慮しながら敷地の維持管理を行うとともに、札幌ドームの環境への取り組みについて子どもたちをはじめ多くの方々に知っていただく活動を幅広く展開しています。

【数値目標】 30種以上の鳥が訪れる環境を維持します 環境啓発企画への参加者を延べ10万人にします

さまざまな環境啓発企画を実施

「環境にやさしい施設」を目指す札幌ドームの取り組みを知ってもらうため、さまざまな企画を実施しています。子どもたちに分かりやすく、興味を持ってもらえるよう、環境啓発活動を継続的にを行っています。

敷地内の鳥や昆虫を観察する「第2回札幌ドーム生き物探検隊!」を開催

専門家のガイドによる自然観察会「札幌ドーム生き物探検隊!～ドームに暮らす鳥や昆虫を観察しよう～」を2015年度に引き続き開催。当日は、小学生と保護者さま合わせて16名の方に参加いただき、散策路やピオトープ付近を巡りながら鳥や昆虫の生態について専門家に解説いただきました。さまざまな生き物が暮らす札幌ドームの豊かな自然環境を知っていただく機会として、ご好評をいただきました。



【講師】■NPO法人生態教育センター 主任指導員/中村 忠昌 氏
■中央大学 理工学部 保全生態学研究室 専任研究員/須田 真一 氏
■大成建設株式会社 環境本部さま



■「第10回環境科学展」(札幌市青少年科学館主催)に出展。



■自主イベント開催時に環境啓発のためのブースを出展。



■近隣小学校の子どもたちを展望台に招待し、札幌ドームの環境への取り組みについて説明。身近な札幌ドームを通して環境学習の機会を提供しています。

「社員エコ行動」を推進しています

節電やごみ分別の徹底など、社員一人ひとりが意識を高めるためにエコ行動を列記したチェックシートで達成度を確認することで「社員エコ行動」を推進。社員による敷地内外のごみ拾い「札幌ドームクリーン・アップ作戦」も毎年実施しています。

いきものにぎわい企業活動コンテスト「環境大臣賞」を受賞しました

札幌ドーム建設に携わった大成建設株式会社さまと共同で進めている環境にやさしい札幌ドームを目指す取り組み「札幌ドームECO MOTION」が、第5回いきものにぎわい企業活動コンテストで「環境大臣賞」を受賞。施設計画段階から多様な生き物が生息できる環境の創出を目指し、18年間にわたって保全管理を行っている点などが評価されました。



環境への取り組みを広く発信しています

札幌ドームの環境への取り組みは、ウェブサイトやCSRレポートでの公開のほか、札幌市開催の「環境報告書展」出展、札幌市環境プラザで行われた「環境報告書展」ミニトークでの報告など、さまざまなかたちで発信しています。

■環境活動の歩み

- 2001. 6 自然力を生かした環境配慮型施設として開業
(半地下構造、自然採光・自然換気、コージェネレーションシステム導入等)
- 2004. 3 蒸気系統バルブ類断熱工事
- 2007. 2 売店等でのレジ袋削減の推進開始
- 3 イベント開催時において「紙カップ専用回収ボックス」を設置し、紙カップの分別回収開始
- 6 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 7 「紙カップ専用回収ボックス」を改善し、「リサイクルポスト」として設置
- 8 通年営業店舗サインをLED化
- 9 芝ごみの分別を開始
- 9 イベント開催時における紙トレイ・弁当外箱の分別回収テスト実施
- 9 北海道日本ハムファイターズ戦において「マイお買い物袋」配布
- 11 冬季イルミネーションにグリーン電力を採用(以降、2009年度まで実施)
- 2008. 1 ボイラー室給排気ファンインバーター化工事
- 3 給湯設備改修工事(「エコキュート」導入)
- 3 「バイオマスプラスチック」製カップの導入
- 3 ごみ圧縮機の導入
- 3 環境方針・環境行動指針・環境数値目標の策定
- 4 札幌ドーム ウェブサイト「社会と環境への取り組み」ページを公開
- 6 空調冷温水2次ポンプのインバーター化工事
- 6 「北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008」にブース出展
- 7 北海道日本ハムファイターズ戦において「札幌ドームプレゼンツナイター〜ひとりひとりがエコプレイヤー」開催
- 9 第10回グリーン購入大賞(中小企業部門)において「大賞」を受賞
- 2009. 4 野球グラウンドの土の再利用を開始
- 5 プロ野球開催時(グラウンド整備時)の照明モードの見直し
- 6 月別強化項目を定めた「社員エコ行動」の推進開始
- 11 北海道グリーン・ビズ認定制度「創意あふれる取組」部門(もったいない心分野)に認定
- 2010. 3 コンコースおよび南北連絡通路の一部照明をLED化
- 3 低騒音・省エネ型除雪ドーザーの導入
- 3 イベント開催時における雑がみ分別の開始
- 4 Kids' ISO 14000プログラムに協賛(以降、毎年継続)
- 8 エコポイントを活用し、環境寄付を実施
- 11 ペリメーターヒーターインバーター化工事
- 12 環境啓発企画「エコ宣言を書いてドームを自然でいっぱいにしよう」開催
- 2011. 3 札幌ドーム太陽光発電設備設置
- 3 屋外イベント用「リサイクルポスト」製作
- 3 「エコ弁当」を企画
- 3 2011年度からの環境数値目標を一部上方修正
- 10 第6回環境科学展(札幌市青少年科学館主催)にブース初出展
- 2012. 2 トイレ照明人感センサー化工事
- 3 トイレ手洗い・トレーニングルームシャワーに節水金物を設置
- 7 第4回さっぽろ環境賞(循環型社会形成部門)において「優秀賞」を受賞
- 社員による敷地内外のごみ拾い「札幌ドームクリーン・アップ作戦」を開始
- 9 環境啓発企画「札幌ドーム巣箱づくり体験教室」を開催
- 11 札幌ドーム西棟ガラス面にバードセーバーを設置
- 11 札幌ドーム展望台ガラスの遮熱コーティング工事
- 12 平成24年度北海道ゼロ・エミ大賞において「大賞」を受賞
- 2013. 3 新環境目標「ECO MOTION 2021」を策定
- 6 「札幌ドーム展望台見学および環境啓発事業」を開始
- 10 「循環型社会形成推進功労者 環境大臣表彰」を受賞
- 2014. 3 飲料用カップにプラスチック製品を導入し、リサイクルポストの分別回収方法を変更
- 3 電気自動車を導入
- 3 芝ごみの堆肥化リサイクルを開始
- 7 自主イベント時の環境啓発ブースの出展を開始
- 12 容器包装プラスチックごみの分別・再資源化を開始し、リサイクルポストの分別回収方法を変更
- 2015. 3 「札幌ドーム ECO MOTIONと大成建設エコロジカルプランニング」が「国連生物多様性の10年日本委員会の連携事業」に認定
- 5 「ラブアース・グリーンアップin北海道」への参加を開始
- 8 環境啓発企画「札幌ドーム 生き物探検隊!」を初開催
- 11 「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」に登録
- 2016. 3 プラスチックカップの原料化リサイクルを開始
- 10 「札幌ドーム ECO MOTION」が第5回いきものにぎわい企業活動コンテストで「環境大臣賞」を受賞



札幌ドームは生物多様性の保全に取り組み、豊かな環境づくりを進めています

札幌ドームは生物多様性の保全に取り組み、生態系に配慮した敷地の維持管理を続けています。緑に包まれ、さまざまな種類の鳥や昆虫たちが暮らす豊かな環境づくりをこれからも進めていきます。

「札幌ドーム生き物マップ」をウェブサイトに新設し、札幌ドームに住む生き物たちを紹介しています。



緑豊かな「スポーツの庭」を実現

札幌ドームは、農耕地と都市をつなぐ「スポーツの庭」として誕生しました。建設に先立ち、食物連鎖の上位に位置する「鳥」の視点から建設予定地を含む周辺地域の生態系を分析し、鳥が暮らしやすい環境づくりを基調に森林や水辺、草地など11種の緑地植生モデルを導入。建設前より豊かな環境づくりを目指すこの「エコロジカルプランニング」に基づき、敷地の維持管理に取り組んでいます。



建設前



2010年

■草地

草むらに巣をつくり、子育てをするホオアカやにぎやかな鳴き声のヒバリなどがあります。隣接する北海道農業研究センターの方から、リスやキツネが現れることもあります。



ホオアカ



ヒバリ



ミヤマカラスアゲハ



2001年

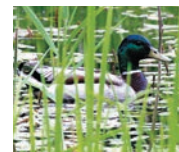


2015年

■ビオトープ

札幌ドーム建設前にはなかった水辺環境を、調整池を利用して整備した結果、トンボなどの水辺を好む生き物が住処となりました。初夏にはヒナをつれたマガモたちが、ヨシやガマの間を泳いでいます。

■マガモ



■アオイトトンボ



人の安全と生き物を守る取り組み

緑や生き物たちを守るとともに、景観の美しさとお客さまの安全性を確保するため、散策路などの草地の刈り込み、植栽の剪定や冬囲いなどを適切な時期に実施しています。大雨による河川の増水を一時的に受け止める調整池では、泥を取り除く際にトンボが生息するヨシやガマを残すようにするなど、生態系に配慮しながら作業を行っています。



36種類

建設前から比べて
鳥の種類が1.6倍の
36種類になりました。

35種類

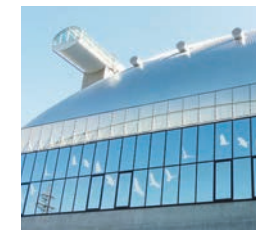
建設前から比べて
チョウの種類が3.5倍の
35種類になりました。

30種類

建設前から比べて
トンボの種類が6倍の
30種類になりました。

■バードセーバー

札幌ドーム敷地内には多くの鳥たちが暮らしており、その環境を守っていくために地域の子どもたちが作製した巣箱を各所に設置。また、鳥が衝突するバードストライクを防ぐため、西棟ガラス面にバードセーバー(105m)を設置しています。

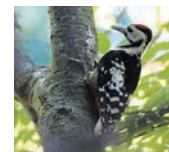


■防風林

(ポプラやトドマツ、シラカバなど)
羊ヶ丘展望台付近から続く防風林は、人の暮らしとともに、鳥の暮らしも守っています。ハシブトガラやアカゲラなど、さまざまな鳥たちの姿を見ることができます。



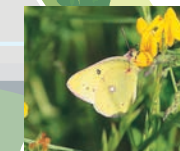
ハシブトガラ



アカゲラ

■草地

黄色い花を咲かせるセイヨウミヤコグサなど、野の花がたくさん咲いています。こうした花のミツはチョウたちの好物で、モンキチョウやエゾシロチョウなど、さまざまな種類が生息しています。



モンキチョウ



ミドリヒョウモン



エゾシロチョウ

■ボタニカルゾーン

自生していた樹木をできるだけ残したうえで、植樹も行ってつくり上げてきた「森」。大きく生長した広葉樹林には、鳥やエゾリスなどが暮らすようになりました。敷地内には、全部で約5,000本もの木があります。

■ズミ



■ツグミ



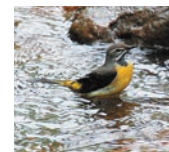
■エゾリス



■うらうちない川

羊ヶ丘展望台から福住地区を流れる「うらうちない川」は、札幌ドームの敷地内も流れています。ここでは、川や池沿いを好んで生息するキセキレイが水浴びをしている様子を見ることが出来ます。

■キセキレイ



※確認種数は2015年の調査によるものです。

協力：大成建設株式会社

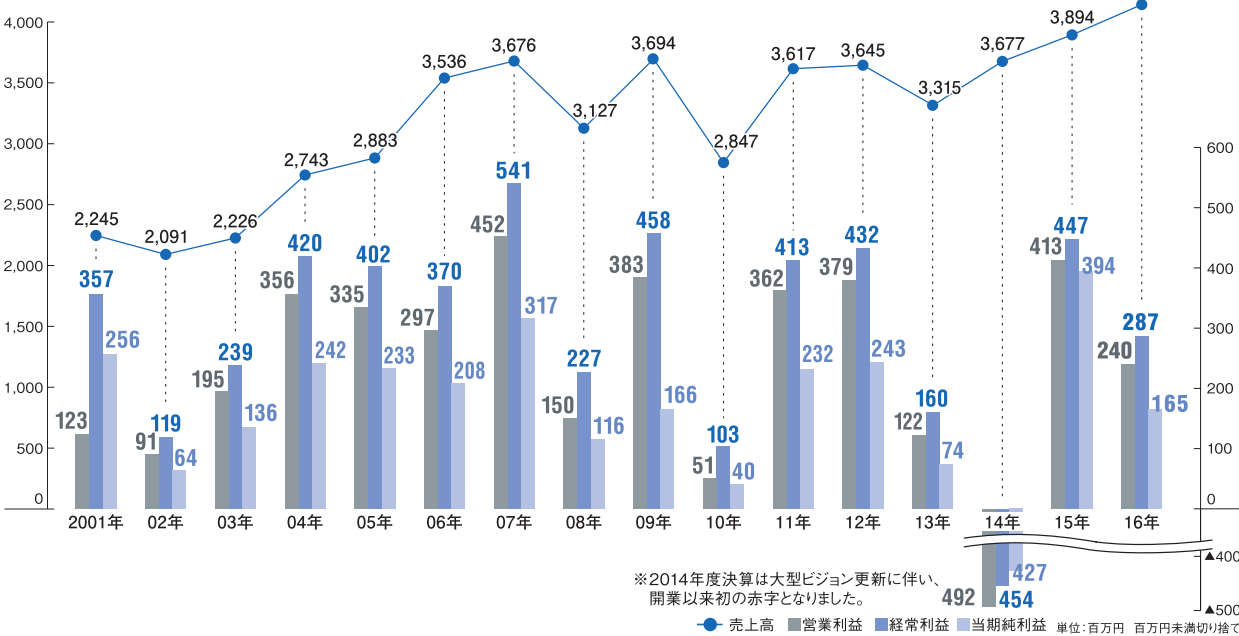
■会社概要

商 号	株式会社札幌ドーム
所 在 地	札幌市豊平区羊ケ丘1番地
代 表 者	代表取締役社長 山川 広行
設 立	1998年10月1日
資 本 金	10億円
売 上 高	41億4,318万円(2017年3月期)
社 員 数	73名(2017年7月現在)
事業内容	札幌ドームの管理運営業務全般 〔 地方自治法および札幌ドーム条例等の規定に基づく 〕 〔 札幌ドーム指定管理者 〕 1.貸館事業(アリーナ・諸室等のイベント利用への貸出 およびイベント運営サポート) 2.商業事業(ドーム内の飲食物販事業の管理運営) 3.観光事業(ドーム展望台およびドーム見学ツアーの運営) 4.市民利用事業(草野球、サッカー練習場および トレーニング室の一般市民利用管理) 5.広告事業(ドーム内広告看板の販売管理) 6.駐車場事業(ドーム駐車場の管理運営) 7.チケット事業(各種イベントのチケット販売管理)
株 主	札幌市(55%)、札幌商工会議所、 北海道電力(株)、北海道瓦斯(株)、 (株)北海道新聞社、(株)北洋銀行、 (株)北海道銀行、サッポロビール(株)、 (株)プリンスホテル、(株)竹中工務店、 大成建設(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、 (株)電通、(株)電通北海道、 (株)大広、東日本電信電話(株)、 (株)近畿日本ツーリスト北海道、(株)NTT東日本ー北海道、 NTTソルコ&北海道テレマート(株)、 北海道キリンビバレッジ(株)、サントリービバレッジサービス(株)、 (株)JTB北海道、(株)JTB商事、 北海道放送(株)、札幌テレビ放送(株)、 北海道テレビ放送(株)、北海道文化放送(株)

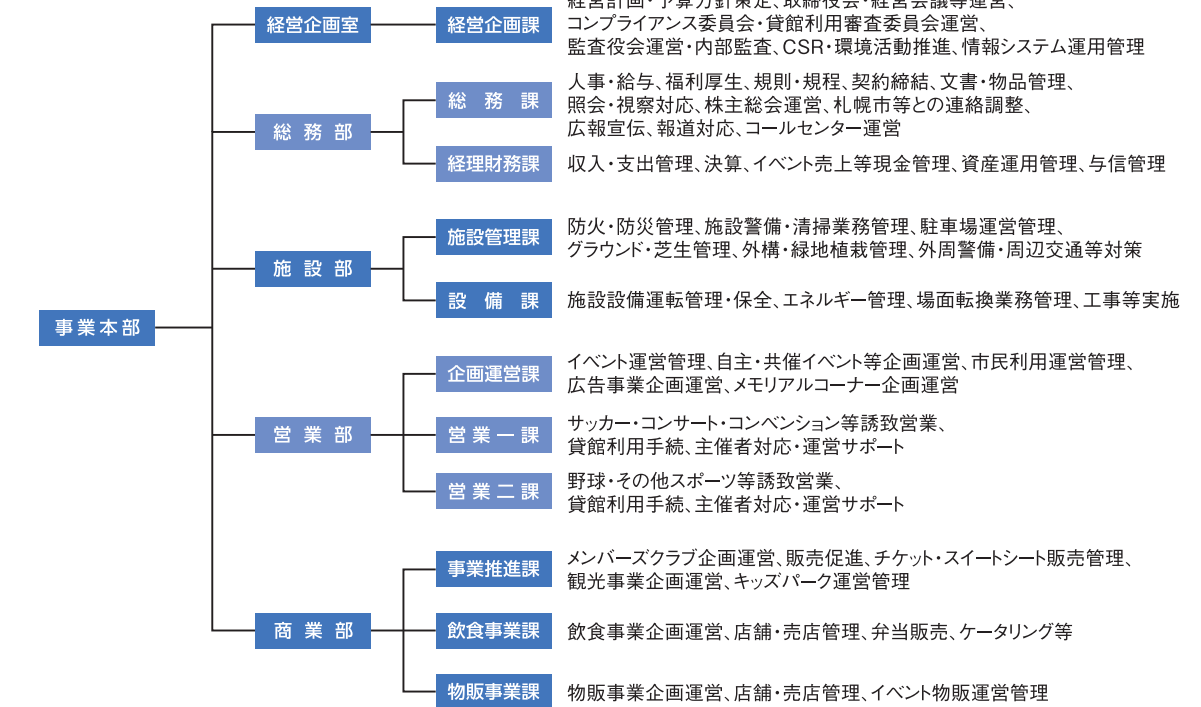
■札幌ドームの歩み

1993.	1	2002FIFAワールドカップ™大会国内開催候補地に決定
1996.	1	札幌市、ドーム化を決定
	5	2002FIFAワールドカップ™大会日韓同時開催決定
1998.	6	着工
	10	株式会社札幌ドーム設立
1999.	10	札幌ドーム条例制定
2001.	5	竣工
	6	開業(6/2)
	9	来場者100万人突破
2002.	3	日本ハムファイターズ フランチャイズ移転計画 「北海道新聞」紙面で公に
	6	2002FIFAワールドカップ™大会開催
	7	日本ハムファイターズ、フランチャイズ移転正式決定
	10	トレーニングルーム オープン
	12	「J1ベストピッチ賞」受賞
2003.	10	札幌ドーム敷地内に、フランチャイズ事務所棟完成
2004.	3	北海道日本ハムファイターズ移転元年シーズン開幕
	11	「札幌ドームMVP賞」創設
2005.	3	人工芝更新
2006.	3	来場者1,000万人突破、メモリアルコーナー設置
	4	指定管理者制度導入
	5	こどものひろば“キッズパーク”オープン
	6	開業5周年「ありがとう札幌ドーム5周年キャンペーン」
	10	北海道日本ハムファイターズ 日本シリーズ優勝
2007.	2	FIS ノルディックスキー世界選手権 札幌大会開催
	10	来場者1,500万人突破
2008.	10	2008FIA世界ラリー選手権 第14戦 バイオニア・カロツツェリア ラリージャパン開催
2009.	3	プレイヤーズビューシート設置
	8	来場者2,000万人突破
2010.	9	2010FIA世界ラリー選手権 第10戦 ラリージャパン開催
2011.	6	開業10周年、来場者2,500万人突破
	7	北ガスグループ 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム初開催
2012.	2	札幌モーターショー初開催
2013.	1	来場者3,000万人突破
	2	人工芝更新(2回目)
	6	来場者数3,000万人を記念し、「感謝の森」を造成
2014.	3	「グッズ☆ジャム」拡張リニューアルオープン
2015.	2	大型ビジョン更新
2016.	6	開業15周年
	6	サッポロ モノ ヴィレッジ初開催
	7	来場者4,000万人突破

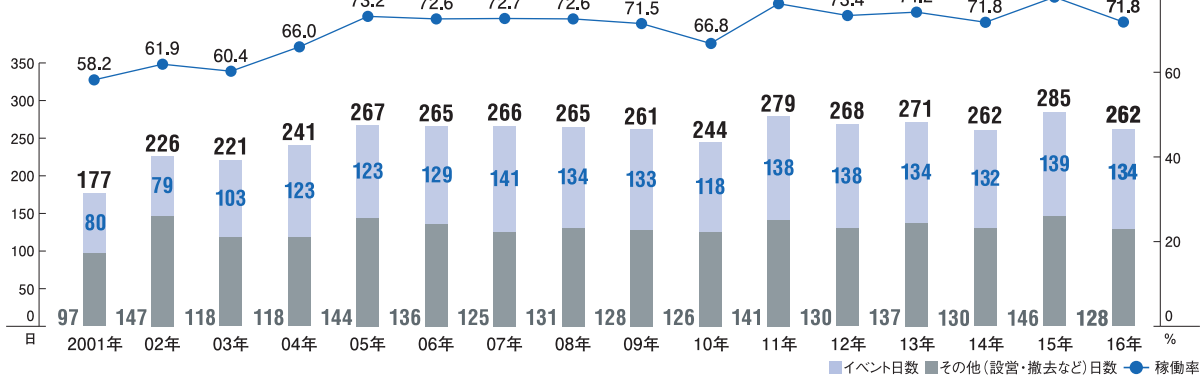
■業績の推移



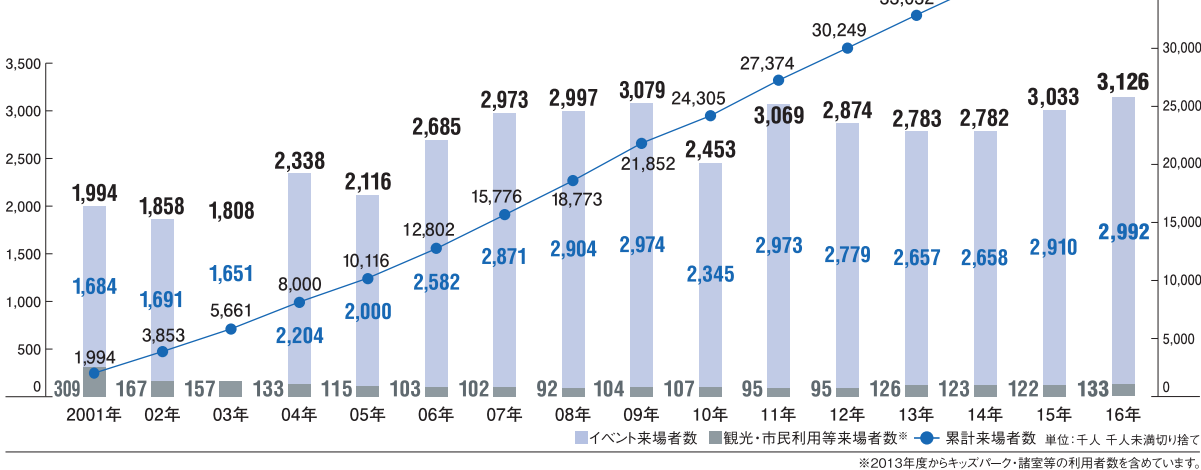
■組織図および業務分掌

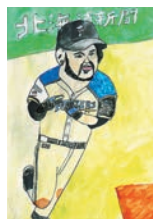


■利用日数および稼働率の推移



■来場者数の推移





「第6回 札幌ドームこども絵画展2016」入賞作品（入選は除く）

札幌ドームの「会社情報・CSR」についての最新情報は
下記ウェブサイトをご覧ください。

www.sapporo-dome.co.jp

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

札幌ドームウェブサイト、札幌ドームのCSR活動および本CSRレポートのアンケートをご用意しております。皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお聞かせください。

株式会社 **札幌ドーム**

〒062-0045 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地 TEL.011-850-1000(代表) FAX.011-850-1011

発行：2017年7月 ※2017年7月現在の資料をもとに作成しています。内容は変更になる場合があります。



インクは植物油インクを使用しています。



CARBON OFFSET

この報告書は、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用することにより、CO₂削減事業ならびに東北経済復興を応援しております。